資料１

HONJO-WASEDA NO MORI MUSEUM

本庄早稲田の杜ミュージアム

年報　令和 5 年度

目次

1　施設概要

Ⅰ　施設　　1　施設
　　2　沿革
　　3　組織

Ⅱ　本庄早稲田の杜ミュージアムがめざすもの

2　事業概要

Ⅰ　開館日数・入館者数　　1　開館日数
　　2　入館者数
　　3　団体見学

Ⅱ　展示　　1　本庄市展示室
　　2　早稲田大学展示室
　　3　企画展
　　4　ミニ企画展
　　5　旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース

Ⅲ　教育普及　　1　ワークショップ・イベント
　　2　講座・講演会
　　3　ガイドツアー（ギャラリートーク）

Ⅳ　博学連携事業　　1　博学連携事業
　　2　早稲田大学本庄高等学院との連携事業

Ⅴ　その他の事業　　1　来館者数達成記念事業
　　2　開館３周年記念事業
　　3　特別開館・臨時休館
　　4　博物館実習
　　5　他団体主催イベントへの参加

Ⅵ　資料活用　　1　館外特別利用
　　2　特別利用

Ⅶ　資料収集　　1　新収蔵資料

Ⅷ　情報発信・広報等　　1　情報発信・広報
　　2　刊行物
　　3　ミュージアムショップ

Ⅸ　本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会　1　運営委員会委員
　　2　運営委員会

1 施設概要

Ⅰ 施設

1　施設

1｜名称　本庄早稲田の杜ミュージアム　英表記　HONJO-WASEDA NO MORI MUSEUM

2｜所在地　埼玉県本庄市西富田 1011 番地

3｜開館年月日　令和 2（2020）年 10 月 15 日

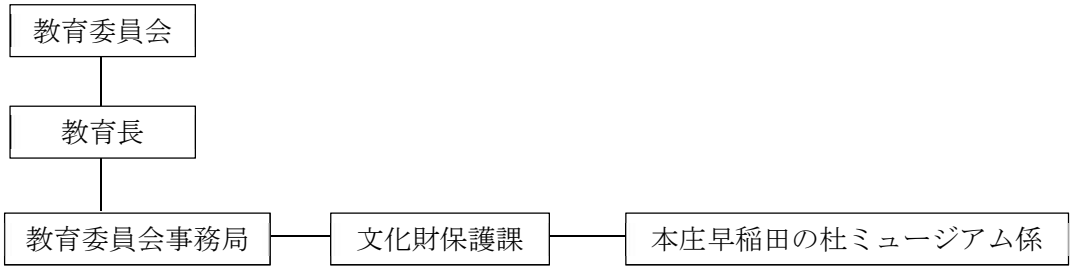
4｜施設概要　本庄早稲田の杜ミュージアムは、早稲田大学本庄キャンパス内にある早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター（早稲田大学 93 号館）1 階に開設しました。本庄市と早稲田大学は、当館のある大久保山、浅見山丘陵の恵まれた自然環境と多様な遺跡や文化財に囲まれた一帯を「本庄早稲田文化の杜」とし、地域文化の拠点として位置付けています。当館はその中核施設として、本庄の歴史と文化の魅力を発信するとともに、地域の歴史をグローバルな視点でとらえる展示を行っています。

2　沿革

平成 17（2005）年 5 月 11 日	本庄市と早稲田大学は「早稲田大学と本庄市との協働連携に関する基本協定書」を締結
令和元（2019）年 7 月 26 日	本庄市と早稲田大学は「本庄早稲田の杜ミュージアムに関する基本契約書」を締結
令和元（2019）年 12 月	「本庄早稲田の杜ミュージアム設置及び管理に関する条例」が本庄市議会で可決し、開館日が令和 2 年 5 月 15 日に決定
令和 2（2020）年 5 月	本庄市議会において開館延期を決定
令和 2（2020）年 9 月	開館日が令和 2 年 10 月 15 日に決定
令和 2（2020）年 10 月 15 日	開館
令和 5（2023）年 9 月 10 日	来館者 5 万人達成

3　組織

1｜運営体制



2｜名誉館長

渡邉　義浩（早稲田大学常任理事・文学学術院教授）

3｜職員

令和 5 年度

館長　折茂　勝彦

本庄早稲田の杜ミュージアム係　係長　橋爪　里佳・主査　松橋　由希（※）・専門員　太田　博

之（※）・主事　秋山　寛行（※）・主事　松浦　誠（※）・会計年度任用職員　松本　完（※）・会計年度任用職員　笠原　万理子

（※）学芸員

Ⅱ 本庄早稲田の杜ミュージアムがめざすもの

■ 本庄市と早稲田大学が所蔵する考古資料等を活用した展示その他の教育普及活動を通じて、来館者が本庄市の歴史に親しみ、学ぶための拠点とする

■ 周辺の文化財施設や学校、その他関連団体等との連携を図り、地域文化の中核施設としての役割を果たす

1　市民共有の財産である考古資料等の調査、研究を行い、展示・教育・出版活動を通じて、市民の誰もが本庄市の長い歴史を身近に感じられる場とする

2　学校教育と連携を図り、学習目的に対応した見学・体験プログラムを提供することで、児童・生徒の歴史学習の拠点となる

3　子どもたちの知的好奇心を喚起し、郷土学習をはじめ、何かを学ぶことや深く知ることの面白さを体感できる環境を創出する

4　実際に見て、触れることができる実物資料を活用した学習環境をつくるほか、多彩な体験学習の機会を設け、体感的な歴史学習を推進する

5　幅広い利用者に対応し、障害のある方や乳幼児連れの家族でも気兼ねなく過ごせる環境づくりを行う

6　前山１号墳や宥勝寺裏埴輪窯跡など貴重な遺跡が所在する恵まれた立地環境を生かし、大久保山・浅見山丘陵全体を博物館として活用する

7　生涯学習や文化推進の拠点施設として、資料の公開のみならず、情報発信力の高い施設づくりを行う

8　本庄市と早稲田大学が所蔵する資料を積極的に公開し、研究者や市民の主体的な調査研究をサポートする

9　本庄市と早稲田大学が協働し、先端的な調査、研究を推進するとともに、研究者や研究団体の活動に協力し、その成果を展示、学習の場に生かす

利用案内

名　　称　本庄早稲田の杜ミュージアム　英語表記　HONJO-WASEDA NO MORI MUSEUM
所 在 地　埼玉県本庄市西富田 1011 番地
開館時間　午前 9 時～午後 4 時 30 分
休 館 日　月曜日（休日の場合は翌日）・年末年始（12 月 28 日～1 月 3 日）
入 館 料　無料
交通案内　新幹線　JR 上越・北陸新幹線　本庄早稲田駅南口から徒歩 3 分
　　電　車　JR 高崎線　本庄駅南口からはにぽんシャトル（所要時間 13 分）バス停「本庄早稲田駅北口」下車　徒歩 5 分　または　本庄駅南口からタクシー10 分
　　自動車　関越自動車道　本庄児玉ＩＣから 5 分　無料駐車場あり

2 事業概要

Ⅰ 開館日数･入館者数

1 開館日数

令和 2 年度	138 日
令和 3 年度	306 日
令和 4 年度	306 日
令和 5 年度	307 日

2 入館者数

令和 2 年度	9,771 名
令和 3 年度	17,402 名
令和 4 年度	15,141 名
令和 5 年度	18,695 名
累計	61,009 名

3 団体見学

（令和 5 年度）

種 別			団体数		人数	
				うち市内		うち市内
学校団体	小学校	3 年生	8 団体	8 団体	405 名	405 名
		4 年生	1 団体	1 団体	74 名	74 名
		5 年生	5 団体	1 団体	253 名	78 名
		6 年生	4 団体	3 団体	193 名	134 名
		特別支援学級	1 団体	1 団体	8 名	8 名
	中学校	特別支援学級	2 団体	2 団体	37 名	37 名
	高等学校		3 団体	3 団体	109 名	109 名
	特別支援学校		1 団体	1 団体	36 名	36 名
	専門学校		1 団体	0 団体	10 名	0 名
	大学		2 団体	0 団体	18 名	0 名
教育関係団体（学童・研究会等）			15 団体	9 団体	299 名	233 名
生涯学習団体（自治会・任意団体等）			17 団体	4 団体	295 名	50 名
福祉関係団体（介護施設等）			3 団体	1 団体	38 名	11 名
その他			8 団体	3 団体	123 名	43 名
		合計	71 団体	37 団体	1,898 名	1,218 名

Ⅱ 展示

1 本庄市展示室

（1）埴輪の世界

1｜概要

本庄市のマスコット「はにぽん」のモデルとなった前の山古墳出土の盾持人物埴輪や埼玉県指定史跡である宥勝寺裏埴輪窯跡出土の靫形埴輪など大型で造形的にも優れた形象埴輪を中心に、

市内出土の形象埴輪を展示の中核に据え、あわせて壺形埴輪や朝鮮半島系の土器製作技法で製作された円筒埴輪など他の地域では見られない資料を展示し、市内出土埴輪の特徴を明示しています。令和 5 年度は、東北歴史博物館（宮城県多賀城市）で開催された夏季特別展「古墳をつくる人びと - はにわ工人、ハジベ君！」に、壺を運ぶ女子人物埴輪（東五十子 23 号墳出土）1 点、靫形埴輪（宥勝寺裏埴輪窯跡出土）1 点、盾持人物埴輪（前の山古墳出土）1 点が出展したため、貸出期間中に前の山古墳出土の円筒埴輪、土師器（坏・短頸壺）、須恵器（横瓶・フラスコ形長頸壺）を展示しました。また、本庄市マスコット「はにぽん」のモデルである盾持人物埴輪（前の山古墳出土）と女子人物埴輪（せきね古墳出土）の 2 点について、３Ｄスキャンとフォトグラメトリーにより３Ｄモデル化しました。

２｜展示構成と主な展示資料

埴輪サークル	展示点数	22 点
盾持人物埴輪ほか	展示点数	17 点

（２）本庄の歩み

１｜概要

各時代を代表する資料を市所蔵の資料のみならず、早稲田大学所蔵の資料と組み合わせて展示することで、旧石器時代から中・近世までの地域の歴史を、考古資料を通じて解説します。また、年表や映像コンテンツを活用することで、地域の歴史をよりわかりやすく紹介しています。令和 5 年度は、来館した児童が本庄市の歴史文化に関心をもち、理解を深めやすくなるよう、見学時の補助ツールとなる館内探検ガイドブック（ジュニアガイド）を制作しました。また、新宮遺跡出土の縄文土器（深鉢）1 点について、３Ｄスキャンとフォトグラメトリーにより３Ｄモデル化したほか、土器片の状態から復元された状態に組み上がるまでのモーショングラフィックスと復元品の３ＤＣＧ動画を制作しました。

２｜展示構成と主な展示資料

旧石器時代	ナイフ形石器ほか	展示点数 34 点
縄文時代	縄文土器ほか	展示点数 95 点
弥生時代	弥生土器ほか	展示点数 14 点
古墳時代	土師器ほか	展示点数 266 点
飛鳥時代	ガラス小玉鋳型ほか	展示点数 14 点
奈良時代	宝亀二年銘木簡ほか	展示点数 10 点
平安時代	石製紡錘車ほか	展示点数 8 点
鎌倉時代	複弁蓮華文軒丸瓦ほか	展示点数 9 点
戦国時代	かわらけほか	展示点数 32 点

本庄の歩み［年表・地図］

本庄の歴史［映像約 10 分］・考古資料からみる本庄［映像約 8 分］・本庄早稲田の杜ミュージアムの魅力（名誉館長インタビュー）［映像約 4 分］※手話版・英語版あり

本庄の歴史［子ども向け映像約 17 分］・考古学でわかる本庄［子ども向け映像約 16 分］※字幕／手話版・英語版あり

関連資料	武蔵国分寺跡出土単弁蓮華文軒丸瓦ほか	展示点数 11 点
	アル・フスタート遺跡出土白磁碗ほか	展示点数 24 点

2　早稲田大学展示室

タイトル	会期	開催日数	来場者数
會津八一と瓦の蒐集	令和5年3月4日（土曜日）～令和5年6月4日（日曜日）	80日 （56日※1）	3,963名 （2,700名 ※1）
エジプト文化展－早大隊の調査から辿る－	令和5年7月4日（火曜日）～令和5年11月12日（日曜日）	113日	8,556名
下野谷遺跡から見る風景－縄文時代の人々と竪穴住居の生活	令和5年12月12日（火曜日）～令和6年5月26日（日曜日）	90日 ※2	5,213名 ※2

※1　令和5年4月1日～6月4日　　※2　令和6年3月31日現在

（1）會津八一と瓦の蒐集

1｜概要

會津八一（1881～1956）は書家、歌人、東洋美術史学者であり、早稲田大学の歴史考古学の基礎を築いた人物です。八一は早稲田大学で東洋美術史の講義を受け持った際、実物資料を重要視する「実学」を主張し、学生の教育・研究用に実物資料を蒐集しました。今回の企画展では、八一が生涯を通して重視した「実学」を、八一が蒐集した各時期の日本・朝鮮・中国瓦塼（がせん）の展示を通して紹介しました。

2｜会期

令和5年3月4日（土曜日）～6月4日（日曜日）

休館日　月曜日（休日の場合は翌日）

3｜展示構成と主な展示資料

1章 はじまりの地、中国－瓦の誕生

饕餮文半瓦当、獣身文瓦当、朱雀文瓦当、白虎文瓦当、維天降霊銘瓦当、蕨手文馬氏萬年銘瓦当、鼎胡宮延寿銘瓦当、緑釉男瓦など

2章 個性爆発、韓半島－壮麗なる文様群

百済扶余軍守里廃寺素弁蓮華文鐙瓦、新羅素弁蓮華文軒鐙瓦、渤海上京龍泉府ハート形蓮華文鐙瓦、高句麗平壌東大院蓮華文鐙瓦など

3章 仏教とともに、日本－奈良から東国まで

奈良飛鳥寺素弁蓮華文鐙瓦、法隆寺素弁蓮華文鐙瓦、複弁蓮華文鐙瓦、唐草文宇瓦、群馬上植木廃寺単弁蓮華文宇瓦、上野国分寺単弁蓮華文宇瓦、東京武蔵国分寺硯転用男瓦、千葉龍角寺単弁蓮華文鐙瓦、奈良法隆寺若草伽藍跡巴文鐙瓦、唐招提寺銘鐙瓦など

4章 造形美がひかる－鬼瓦もあり

京都伝甕原離宮（山城国分尼寺）鬼瓦、中国人物文塼、馬車文塼、交龍文長方塼など

展示点数120点

4｜関連事業

①講演会　企画展会期中に講演会（全2回）を開催しました。

第1回　演題「會津八一の蒐集品－明器泥像から拓本まで－」

講師　下野 玲子 氏（會津八一記念博物館主任研究員）

第 2 回　演題「會津八一の蒐集した瓦塼について」
講師　谷川 遼 氏（會津八一記念博物館助手）

②ギャラリートーク　第 2 回講演会終了後、企画展担当者でもある谷川 遼 氏（會津八一記念博物館助手）による展示解説を実施しました。

※第 1 回は令和 4 年度事業

※肩書は開催時点

5｜会期中のミュージアム入館者数　3,963 名

（参考）令和 5 年 4 月 1 日～6 月 4 日の入館者数　2,700 名

（2）エジプト文化展－早大隊の調査から辿る－

1｜概要

1966（昭和 41）年 9 月、吉村作治氏を学生隊長とする 5 人の学部生は、兵庫の相生港からタンカー「東海丸」に乗ってエジプトに向かいました。その後、合流した川村喜一早稲田大学講師（当時）とともに、ナイル川流域の遺跡を北から南へくまなくジェネラルサーベイ（遺跡踏査）しました。これが早稲田大学の、さらには日本のエジプト考古学の礎となったのです。そして、念願の発掘権をエジプト考古庁から取得した 1971（昭和 46）年、アジア人で初となるエジプト発掘が実現しました。その最初の発掘地となったのが、マルカタ南遺跡です。早稲田大学本庄キャンパスには、ジェネラルサーベイとマルカタ南遺跡の資料が保管されています。1980 年代までは「分配制度」があり、エジプト政府の許可のもと、出土品の一部を研究のために持ち帰ることができました。本展覧会では、これら貴重な資料を用いて、古代エジプト文化をさまざまな視点から紹介しました。

2｜会期

令和 5 年 7 月 4 日（火曜日）～11 月 12 日（日曜日）

休館日　月曜日（休日の場合は翌日）・7 月 17 日（祝日／月曜日）

3｜展示構成と主な展示資料

≪調査≫早大エジプト調査の歩み／マルカタ南／ルクソール西岸岩窟墓／アメンヘテプ 3 世王墓／アブ・シール南／ダハシュール北／ギザ台地

主な展示資料　ジェネラルサーベイ表採資料、魚の丘彩色階段（模型）

≪生活≫ナイル／パンとビール／食卓／住まい／ランプ

主な展示資料　石皿、把手付壺、アンフォラ、日乾レンガ、ランプ

≪経済≫租税／市場

主な展示資料　おもり、コイン

≪文字≫古代エジプト語

主な展示資料　ヒエログリフ

≪技術≫金属とガラス／ファイアンス／青色顔料

主な展示資料　ビーズ製装身具、ガラス製腕輪、青銅製指輪、ファイアンス製品、青色彩文土器

≪宗教≫神と世界観／ファラオ／民間信仰

主な展示資料　奉献土器、護符

≪埋葬≫死生観／ミイラ／墓と副葬品／棺／陶棺の発見／セヌウの墓の発見

主な展示資料　ミイラ布、供物卓、シャブティ、陶棺

展示点数　282 点

4｜関連事業

①講演会　企画展会期中に講演会（全 3 回）を開催しました。

第 1 回　演題「ヒエログリフで遊ぼう」※子ども向け

講師　馬場 匡浩 氏（早稲田大学考古資料館学芸員）

第 2 回　演題「古代エジプトの食文化」

講師　馬場 匡浩 氏（早稲田大学考古資料館学芸員）

第 3 回　演題「私のエジプト調査 60 年」

講師　吉村 作治 氏（早稲田大学名誉教授・東日本国際大学総長）

②ガイドツアー　企画展担当者でもある馬場 匡浩 氏（早稲田大学考古資料館学芸員）による展示解説を全 2 回実施しました。

※肩書は開催時点

5｜後援　一般社団法人日本エジプト考古学研究所、東日本国際大学エジプト考古学研究所、株式会社アケト

6｜会期中のミュージアム入館者数　8,556 名

（3）下野谷遺跡から見る風景－縄文時代の人々と竪穴住居の生活

1｜概要

西東京市の国指定史跡下野谷遺跡は、南関東で最大規模を誇る縄文時代中期の集落で、発掘開始から 50 年を迎えます。早稲田大学は、下野谷遺跡縄文時代編の報告書の刊行を契機に、その成果と資料を公開するものです。

縄文時代の人々は、海水準の変化を伴う大きな環境変動の中で、狩猟・漁撈・採集により、自然と共生し、持続可能な社会を約 1 万年以上の長きにわたり営みました。縄文時代の人々と暮らしがどのようなものであったか、「住」をテーマに、早稲田大学公認サークル、アニメーション研究会と絵画会の協力を得て、縄文人の生活を分かりやすく紹介しました。

2｜会期

令和 5 年 12 月 12 日（火曜日）～令和 6 年 5 月 26 日（日曜日）

休館日　月曜日（休日の場合は翌日）、年末年始（12 月 28 日～1 月 3 日）

3｜展示構成と主な展示資料

下野谷遺跡の概要　東集落の概要／双環状集落・拠点集落の特徴

春の縄文集落と人々と生活　竪穴住居の作り方／竪穴住居の役割と効果／竪穴住居と縄文土器の廃棄

主な展示資料　W-91 号住居跡出土土器、W-31 号住居跡出土土器

夏の縄文集落と人々と生活　漁労具（浮子・石錘）／狩猟具（石鏃）／石材（黒曜石）／工具としての石器（石錐・石匙・磨製石斧）／植物採集と土堀具（打製石斧）

主な展示資料　浮子、石錘、石錐、石匙、磨製石斧、打製石斧

秋の縄文集落と人々と生活　植物種子の発見／小型土器／植物採取の調理具（石皿・磨石・敲石）／祭祀に用いられた石製品（石棒）

主な展示物　小型土器、石皿、磨石、敲石、石棒

冬の縄文集落と人々と生活　縄文人の墓（土坑と埋甕、伏鉢）

主な展示物　補修孔を有する土器、底部に網代痕を有する土器片

展示点数 368 点

4｜関連事業

①講演会　企画展会期中に講演会を開催しました。

演題　「下野谷遺跡と縄文ムラの姿」

講師　細田 勝 氏（元早稲田大学考古資料館学芸員）

②イベント　小学生を対象としたイベントを開催しました。

イベント名「縄文時代を描こう-ドキドキ楽しいお絵描き」

講師　早稲田大学公認サークル　アニメーション研究会・絵画会

※肩書は開催時点

5｜共催　西東京市教育委員会

6｜協力　早稲田大学公認サークル　アニメーション研究会、絵画会

7｜会期中のミュージアム入館者数　5,213 名（令和 5 年 12 月 12 日～令和 6 年 3 月 31 日）

3　企画展

タイトル	会期	開催日数	来場者数
第 4 回本庄早稲田の杜地域連携展覧会「弥生時代の児玉・深谷地域」	令和 6 年 1 月 10 日（水曜日）～令和 6 年 3 月 24 日（日曜日）	65 日	2,215 名※

※展示室内に入場した実数

（1）第 4 回本庄早稲田の杜地域連携展覧会「弥生時代の児玉・深谷地域」

1｜概要

児玉・深谷地域では、遺構や遺物の乏しい縄文時代晩期前半～縄文・弥生移行期（弥生時代早期・前期前半）に続いて、弥生時代前期後半～中期初頭ごろより、丘陵の裾部や台地縁辺、段丘上を中心に、散発的ではあるが遺構や遺物がみられるようになります。また、弥生時代中期前半には、丘陵・台地上だけでなく沖積地中の微高地上にも、再葬墓や墓坑とも目される土坑が造られます。弥生時代中期後半の空白期をはさみ、弥生時代後期以降、丘陵上に小規模な集落が点在し、集結する傾向が顕著にみられます。

この展覧会では、主に発掘調査によって出土した資料を出品し、児玉・深谷地域における弥生時代の人々の生活と文化を紹介しました。

2｜主催

本庄市・美里町・神川町・上里町・深谷市・早稲田大学

3｜会期

令和 6 年 1 月 10 日（水曜日）～3 月 24 日（日曜日）

休館日　月曜日（休日の場合は翌日）

4｜会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2Ｆ　情報資料室

5｜展示構成と主な展示資料

本庄市　小島本伝遺跡、秋山大町遺跡、秋山塚原遺跡、四方田遺跡、雷電下遺跡、真鏡寺後遺跡、羽倉南遺跡 出土資料

美里町　伝美里町広木大町、石神遺跡、神明ヶ谷戸遺跡、猪俣南１号住居跡、羽黒山遺跡、志渡川遺跡 出土資料

神川町　海老ヶ久保遺跡、平遺跡 出土資料

上里町　苅道南遺跡、臺第２地点遺跡 出土資料

深谷市　滝宮遺跡１号建物跡、四十坂遺跡、上敷免遺跡 出土資料

早稲田大学　浅見山Ⅰ遺跡、大久保山遺跡 出土資料

展示点数　397 点

6｜関連事業　※肩書は開催時点

①講演会　企画展会期中に講演会（全３回）を開催しました。

第１回　演題「再葬墓の時代－弥生文化黎明の不思議な世界－」
講師　石川 日出志 氏（明治大学文学部教授）

第２回　演題「深谷の弥生時代」
講師　幾島 審 氏（深谷市教育委員会文化振興課）

第３回　演題「神川町の弥生時代」
講師　北山 直人 氏（神川町教育委員会生涯学習課）

②ガイドツアー　第２回及び第３回講演会終了後、企画展担当者でもある幾島 審 氏（深谷市教育委員会文化振興課）、北山 直人 氏（神川町教育委員会生涯学習課）による展示解説を開催しました。

③ワークショップ・イベント　企画展会期中に次のワークショップ・イベントを開催しました。

・弥生人のモノづくりに迫る！ミニ弥生土器をつくろう
・弥生時代≪超≫入門クイズラリー「弥生時代からの挑戦状」
・弥生土器とチェキ撮影会（神川町教育委員会と共催）

7｜会期中のミュージアム入館者数　3,967 名（うち展示会場入場者 2,215 名）

4　ミニ企画展

タイトル	会期	開催日数	来場者数
本庄市の遺跡　令和 4 年度最新出土品展	令和 5 年 3 月 21 日(祝日/火曜日)～令和 5 年 5 月 21 日（日曜日）	55 日（44 日※）	2,794 名（2,309 名※）
これでキミも考古学者！古代人が残した痕跡に迫る！	令和 5 年 7 月 21 日（金曜日）～令和 5 年 8 月 27 日（日曜日）	33 日	2,600 名
本庄市の古墳２　旭・小島古墳群	令和 5 年 10 月 7 日（土曜日）～令和 5 年 12 月 24 日（日曜日）	68 日	5,044 名
本庄市の遺跡　令和 5 年度最新出土品展	令和 6 年 1 月 10 日(水曜日)～令和 6 年 3 月 24 日（日曜日）	65 日	4,017 名

※1　令和 5 年 4 月 1 日～5 月 21 日

（1）本庄市の遺跡　令和 4 年度最新出土品展

1｜概要

本市には 500 箇所を超える埋蔵文化財包蔵地が所在し、毎年発掘調査が行われています。発掘調査は、学術目的のほか、開発に伴い消滅してしまう遺跡を写真や図面に記録し保存しておくために実施されるもので、本市の歴史を語るうえで欠くことのできない貴重な資料が発見されています。最新出土品展は、発掘調査出土品及び関連資料を公開することで、郷土の歴史に対する関心を高めるとともに、市民の埋蔵文化財保護への理解を推進しようとするものです。今回は、令和 4 年度に発掘調査した 6 遺跡の中から秋山諏訪平遺跡(児玉町秋山)、小島本伝遺跡(小島)出土の遺物を中心に、馬形埴輪（尾部）や鈴付高坏などを展示しました。

2｜会期

令和 5 年 3 月 21 日(祝日/火曜日)～5 月 21 日(日曜日)

休館日　月曜日（休日の場合は翌日）

3｜会場

交流ひろば

4｜巡回展　※令和 4 年度事業

会期　令和 5 年 2 月 1 日（月曜日）～3 月 17 日（金曜日）

会場　文化財整理室文化財展示コーナー

5｜展示構成と主な展示資料

＜秋山諏訪平遺跡 H 地点出土資料＞

杯、鈴付高坏、写真パネルほか　展示点数 21 点

＜小島本伝遺跡 D 地点出土資料＞

馬形土製品、馬形埴輪片、写真パネルほか　展示点数 34 点

＜鷺山南遺跡 B 地点、東本庄遺跡 B 地点、西富田・四方田条里遺跡、宮西地区 A 地点、長沖古墳群金屋南地区 D 地点＞

解説パネル、写真パネル　展示点数 12 点

6｜関連事業

ガイドツアー　発掘調査担当者による展示解説を実施しました。

7｜会期中のミュージアム入館者数　2,794 名

（参考）令和 5 年 4 月 1 日～5 月 21 日の入館者数　2,309 名

（2）これでキミも考古学者！古代人が残した痕跡に迫る！

1｜概要

私たちが暮らす地面の下には、昔の人が建てた家の跡や使っていた道具などが残されています。本市でも毎年発掘調査が行われていますが、発掘調査や考古学というと難解なイメージが先行してしまい身近に感じてもらえないことから、令和 3 年度は「発掘調査」、令和 4 年度は「土器」をテーマにミニ企画展を開催し、考古学や発掘調査についてわかりやすく解説しました。今回のミニ企画展は「痕跡」をテーマとし、土器や埴輪に残された痕跡からどんなことがわかるのかをわかりやすく解説することで、考古学に対する関心を高めるとともに、市民の埋蔵文化財保護への理解を推進する機会とするものです。夏休み期間であることから、小学生をターゲットとし、来館のきっかけづくりとするほか、郷土学習や歴史学習への関心を喚起するとともに郷土愛醸

成の一助となるよう子ども向けの展示としました。

2｜会期

令和 5 年 7 月 21 日（金曜日）～8 月 27 日（日曜日）

休館日　月曜日（休日の場合は翌日）

3｜会場

交流ひろば

4｜展示構成と主な展示資料

①考古学ってなに？　主な展示資料　教科書

②土器の細かなところを見てみよう！　主な展示資料　土師器（直口壺・壺・長胴甕）

③土器の作り方を調べてみよう！　主な展示資料　土師器（樽式系甕・高坏・布留式高坏・布留式甕・S 字甕）、縄文土器（深鉢）、弥生土器（甕）

④土器に使った跡がないか調べてみよう！　主な展示資料　弥生土器（甕）、土師器（S 字甕・鉢）

⑤須恵器の作り方を調べてみよう！　主な展示資料　須恵器（甕・フラスコ型長頸壺・提瓶・高坏）

⑥埴輪の作り方を調べてみよう！　主な展示資料　円筒埴輪

展示点数　41 点

5｜関連事業

ワークショップ・イベント　ミニ企画展会期中に次のワークショップ・イベントを開催しました。

・体験型ミステリー「H&W 探偵社の解読記録」

・「土器・どき＼時々、はにわ／ワークショップ」（全 6 プログラム）

6｜会期中のミュージアム入館者数　2,600 名

（3）本庄市の古墳 2　旭・小島古墳群

1｜概要

旭・小島古墳群は、群としての価値が高く、地域的に特色のある遺跡として、昭和 44 年に埼玉県選定の重要遺跡となっていますが、近代以前に消滅した古墳も多く、古墳の分布範囲や古墳群としての構成などは最近まで明らかになっていませんでした。しかし、昭和 50 年代以降、区画整理などの開発に伴う発掘調査よって数多くの古墳跡が発見され、徐々にではありますが、古墳群全体の姿が明らかになっています。新たに出土した遺物も多く、当館で常設展示している遺物のいくつかも同古墳群の出土資料です。今回のミニ企画展では、常設展示では公開してこなかった出土資料を紹介するとともに、これまでに判っている旭・小島古墳群の全体像を解説しました。

2｜会期

令和 5 年 10 月 7 日（土曜日）～12 月 24 日（日曜日）

休館日　月曜日（休日の場合は翌日）

3｜会場

交流ひろば

４｜展示構成と主な展示資料

旭・小島古墳群の概要　主な展示資料　発掘調査報告書

古墳時代前期　主な展示資料　土師器小型直口壺（林 21 号墳出土）・土師器壺（林 21 号墳出土）

古墳時代中期　主な展示資料　土師器坩（北浦１号墳出土）・土師器壺（北浦１号墳出土）・武装人物埴輪片（三杢山８号墳出土）・盛装男子人物埴輪（三杢山８号墳出土）・盾持人物埴輪（三杢山８号墳出土）

古墳時代後期　主な展示資料　盛装男子人物埴輪（石神境古墳出土）・笑う男子人物埴輪（山の神古墳出土）・双脚人物埴輪［台部］（三杢山９号墳）・円筒埴輪（前の山古墳出土）

古墳時代終末期　主な展示資料　須恵器平瓶（堂場７号墳出土）

下野堂二子塚古墳

展示点数　44 点

５｜関連事業

講演会　企画展会期中に講演会（全２回）を開催しました。

第１回　演題「埼玉県における埴輪の受容と展開」

講師　大谷 徹 氏（立正大学文学部講師）

第２回　演題「群馬県における埴輪の受容と展開」

講師　加部 ニ生 氏（桐生市史編集委員会原始古代部会長）

※肩書は開催時点

６｜会期中のミュージアム入館者数　5,044 名

（４）本庄市の遺跡　令和５年度最新出土品展

１｜概要

本市には 500 箇所を超える埋蔵文化財包蔵地が所在し、毎年発掘調査が行われています。発掘調査は、学術目的のほか、開発に伴い消滅してしまう遺跡を写真や図面に記録し保存しておくために実施されるもので、本市の歴史を語るうえで欠くことのできない貴重な資料が発見されています。最新出土品展は、発掘調査出土品及び関連資料を公開することで、郷土の歴史に対する関心を高めるとともに、市民の埋蔵文化財保護への理解を推進しようとするものです。今回は、令和４年 11 月から令和５年 12 月までに発掘調査・整理調査を行った５遺跡（旭・小島古墳群、小島仕切沢南遺跡、北堀新田遺跡、枇杷橋遺跡、将監塚遺跡）の調査報告及び成果を展示し、発掘調査によって新たに得られた知見をいち早く紹介しました。

２｜会期

令和６年１月 10 日（水曜日）～3 月 24 日（日曜日）

休館日　月曜日（休日の場合は翌日）

３｜会場

交流ひろば

４｜巡回展

会期　令和６年４月８日（月曜日）～令和６年５月 31 日（金曜日）

会場　文化財整理室文化財展示コーナー

５｜展示構成と主な展示資料

＜旭・小島古墳群（下野堂地区第 1 地点）出土資料＞

土師器（杯・壺・鉢）、編物石、写真パネル　展示点数 11 点

＜小島仕切沢南遺跡（A 地点）＞

土師器（杯・坏底部・坏破片）、土錘、剣型石製品、勾玉、写真パネル　展示点数 16 点

＜北堀新田遺跡（E 地点）＞

土師器（杯・墨書土器）、須恵器（坏）、写真パネル　展示点数 11 点

＜枇杷橋遺跡（C 地点）＞

土師器（小型甕・坩・高坏・小型壺）、鉄製紡錘車、須恵器（坏・埦・羽釜）、羽口、写真パネル　展示点数 16 点

＜将監塚遺跡（第 4 次）＞

石棒、縄文土器（深鉢）、土師器（坏・小型甕・甑）、磁器（急須蓋）、写真パネル　展示点数 15 点

6｜関連事業

イベント　発掘調査担当者による発掘成果及び展示の見どころをわかりやすく紹介するトークイベントを開催しました。

7｜会期中のミュージアム入館者数　4,017 名

5　旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース

タイトル	会期	開催日数	来場者数
近世の本庄宿／近代の本庄町	令和 2 年 10 月 15 日(木曜日)～ 令和 5 年 10 月 19 日（木曜日）	－	－
中山道本庄宿～街道に生きる人々～	令和 5 年 10 月 20 日（金曜日）～ 令和 5 年 12 月 24 日（日曜日）	66 日	3,458 名
幕末本庄宿のおもてなし～和宮宿泊の舞台裏～	令和 6 年 1 月 19 日（金曜日）～ 令和 6 年 4 月 30 日（火曜日）	73 日	1,972 名

（1）近世の本庄宿／近代の本庄町

1｜概要

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫は、1986（明治 29）年に株式会社本庄商業銀行が資金供給の担保となった大量の繭を収容するために建設した倉庫です。中山道沿いの市街地に残る明治期の建物と併せて、中山道の宿場として繁栄した近世の本庄宿の姿と繭の集散地として賑わった近代の本庄町の姿を、実物資料と写真・解説パネルで紹介しました。

2｜展示構成と主な展示資料

＜近世の本庄宿＞

田村本陣休泊帳（複製）、武蔵国本庄町畑方御検地水帳、文化元年本庄宿家並図、五街道中細見記「中山道の部」（複製）、中山道分間延絵図（パネル）、正徳二年本庄宿絵図（パネル）
展示点数 7 点

＜近代の本庄町＞

写真パネル　本庄繭市場之光景（明治 40 年）、本庄郵便局と諸井家住宅（明治 44 年）、本庄繭糸織物商組合即位記念写真（大正 4 年）、『本庄みやげ・本庄商工業家案内図』「埼玉県本庄町明細地図」（大正 3 年）、日本蚕種貯蔵会社貯蔵庫、小口組繭買入所、本庄繭市場会社、大星館製糸所、陶製繰糸鍋（大星館製糸所跡出土）
展示点数 10 点

（2）中山道本庄宿～街道に生きる人々～

1｜概要

中山道本庄宿は多くの大名や庶民の往来があり、江戸時代後期にはその規模は中山道最大の宿場となり繁栄しました。また、寛永 19 年から文久 3 年までのおよそ 220 年間にわたる参勤交代等の通行の実態を田村本陣が記録した「休泊控帳」といった交通史上重要な史料も伝えられています。今回の企画展では、本市所蔵の資料から絵図にみる宿場の様子や大名を迎えた本陣、そこに生きる人々に焦点をあて紹介しました。

2｜会期

令和 5 年 10 月 7 日（土曜日）～12 月 24 日（日曜日）
休館日　会期中無休

3｜会場

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース

4｜展示構成と主な展示資料

①小笠原氏の入封と本庄地域の支配
主な展示資料　本庄城主小笠原系譜、武蔵国本庄町畑方御検地水帳

②本庄宿の町並み
主な展示資料　中山道絵図 本庄宿

③問屋場と宿役人
主な展示資料　本庄宿並助郷村々誓詞一件、宿方仕来心得方御尋ニ付書上控

④田村本陣と『休泊控帳』
主な展示資料　田村本陣休泊控帳（加賀前田家の宿泊［天保 13 年 3 月］・本陣から大名への「御宿願」［文政 6 年 7 月］）

⑤宿場の賑わいと周辺の村
主な展示資料　繭絹仲間申合せ取決め書、助郷人馬対談書

展示点数　12 点（写真パネル 3 点を含む）

5｜関連事業

①講演会　企画展会期中に講演会を開催しました。
演題　「中山道本庄宿と田村本陣」
講師　秋山　寛行（当館学芸員）

②ガイドツアー　企画展担当者による展示解説を開催しました。

③ワークショップ　企画展会期中にワークショップ「和綴じ本風メモ帳をつくろう」を開催しました。

6｜会期中の旧本庄商業銀行煉瓦倉庫入場者数　3,458 名

（3）幕末本庄宿のおもてなし～和宮宿泊の舞台裏～

1｜概要

江戸時代も終わり頃になると、本庄宿や周辺の村々にも幕末の動乱がやってきます。特に文久元（1861）年の皇女和宮の降嫁は、本庄宿にとっても最大の出来事でした。和宮一行が中山道を通り江戸へ向かう折、本庄宿は現在の埼玉県地域で最初の宿泊地となり、和宮を迎えました。その際、本庄宿では宿泊の準備が入念に行われました。今回の企画展では、本市所蔵の資料から幕末の本庄宿の様子や和宮降嫁への宿場の対応に焦点をあて紹介しました。

2｜会期

令和6年1月19日（金曜日）～4月30日（火曜日）

※当初は3月25日（月曜日）までの予定だったが会期延長

休館日　会期中無休

3｜会場

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース

4｜展示構成と主な展示資料

①中山道本庄宿と田村本陣

主な展示資料　松大鷹図（パネル）、中山道分間延絵図［部分］（パネル）

②姫君の通行と本庄宿

主な展示資料　田村本陣休泊控帳（五十宮の通行［寛延2年3月］・有君の通行［天保2年9月］）

③和宮の降嫁と本庄宿

主な展示資料　福田家文書（児玉に伝わった桜田門外の変）、和宮様下向御用留（立退場絵図）、御本陣御取立建物出来形帳、和宮様御下向御通輿中入用払帳、田村本陣休泊控帳（和宮の通行［文久元年11月］）、金井家文書（和宮下向における助郷免除願い）

展示点数　12点（写真パネル4点含む）

5｜関連事業

①講演会　企画展会期中に講演会を開催しました。

演題　「皇女和宮を迎えた本庄宿田村本陣」

講師　秋山　寛行（当館学芸員）

②ガイドツアー　企画展担当者による展示解説を開催しました。

③ワークショップ　企画展会期中にワークショップ「紋切り遊び体験」を開催しました。

6｜会期中の旧本庄商業銀行煉瓦倉庫入場者数　1,972名（令和6年1月19日～3月31日）

Ⅲ 教育普及

1　ワークショップ・イベント

来館のきっかけづくりとするほか、展示物に対する関心を高めたり、展示物をより身近に感じてもらったりすることを目的にワークショップ及びイベントを開催しました。

タイトル	内容	開催回数	参加者数
キッズデー - こどものためのミュージアムの日 -	缶バッジづくり・粘土や木のマグネットづくり・しおりづくり・ぬりえ	1回	724名
ミュージアムコンサート	早稲田大学グリークラブ 早稲田大学女声合唱団	1回 1回	188名 90名
はじめてのはにわづくり～ミニはにわをつくろう～	自然乾燥で固まる粘土を使用し埴輪をつくる	2回	75名
体験型ミステリー「H&W探偵社の解読記録」	館内に仕掛けられた暗号を解く謎解きイベント	1回	637名
土器・どき＼時々、はにわ／ワークショップ	缶バッジづくり・土器洗い・拓本しおりづくり・埴輪キーホルダーづくり・トートバッグづくり・拓本ポストカードづくり・木のマグネットづくり	1回	630名
和綴じ本風メモ帳をつくろう	和綴じの技術を体験しながら四ツ目綴じのメモ帳をつくる	1回	132名
世界にひとつだけのオリジナル勾玉づくり	滑石を紙やすりで削り、勾玉をつくる	2回	98名
ナイトミュージアム	ハンズオン・ガイドツアー	1回	201名
弥生人のモノづくりに迫る！　ミニ弥生土器をつくろう	自然乾燥で固まる粘土を使用し弥生土器をつくる	1回	18名
紋切り遊び体験	花や動物、はにぽんなどを1枚の紙から切り出す紋切り体験	1回	159名
弥生時代≪超≫入門クイズラリー「弥生時代からの挑戦状」	常設展示と地域連携展覧会を会場としたクイズラリー	1回	367名
弥生土器とチェキ撮影会	本物の弥生土器と一緒にチェキ（インスタント写真）を撮る	1回	30名
縄文時代を描こうードキドキ楽しいお絵かき	土器の使い方をテーマに絵を描く	1回	4名

（1）キッズデー - こどものためのミュージアムの日 -

1｜概要

5月5日のこどもの日を含む5日間をキッズデーとし、子どもたちが当館に訪れ、楽しんでもらうきっかけづくりとして、未就学児でも楽しめるワークショップを開催しました。

2｜開催プログラム（内容）

①＼ミュージアム限定／オリジナル缶バッジをつくろう（缶バッジづくり）

②粘土ではにわマグネットをつくろう（粘土を使ったマグネットづくり）

③はにわデザインしおりをつくろう（埴輪のスタンプを使ったしおりづくり）

④はにわのぬりえをしよう（埴輪デザインの塗り絵）

⑤木のマグネットをつくろう（輪切りした枝木に埴輪のスタンプを押したマグネットづくり）

3｜開催日

令和 5 年 5 月 3 日（祝日/水曜日）～7 日（日曜日）

4｜会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター 1 階エントランスロビー

5｜対象　どなたでも

6｜費用　無料

7｜定員　なし（当日会場受付）

8｜参加者　合計 724 名　※複数プログラムへの参加あり

（2）ミュージアムコンサート

1｜概要

ミュージアムの特別な空間で、早稲田大学グリークラブ及び早稲田大学女声合唱団の公演を開催しました。

2｜開催日時・出演団体

第 1 回　令和 5 年 5 月 20 日（土曜日）午後 4 時～4 時 30 分

出演　早稲田大学グリークラブ

第 2 回　令和 5 年 10 月 14 日（土曜日）午後 4 時 30 分～5 時 00 分

出演　早稲田大学女声合唱団

3｜会場

本庄早稲田の杜ミュージアム屋外特設会場

4｜対象　どなたでも

5｜費用　無料

6｜定員　なし

7｜関連事業

①特別開館

5 月 20 日（土曜日）は午後 5 時まで、10 月 14 日（土曜日）は午後 5 時 30 分まで開館時間を延長しました。

②本庄早稲田の杜ミュージアム開館 3 周年記念事業

10 月 14 日（土曜日）開催の早稲田大学女声合唱団の公演は、開館 3 周年記念事業の 1 プログラムとして実施しました

8｜参加者　第 1 回 188 名　第 2 回 90 名　合計 197 名

（3）はじめてのはにわづくり～ミニはにわをつくろう～

1｜概要

埴輪は、古墳の周囲に並べられた素焼きの土製品です。古墳時代につくられ、筒の形をした円筒埴輪や人物･動物･家などをかたどった形象埴輪があります。埴輪は当館のメイン展示でもあり、笑った表情を持つ盾持人物埴輪や弓形埴輪など全国的にも例の少ない希少な埴輪を展示してい

ます。埴輪づくりを通じて、埴輪の特徴やどんなものが埴輪でつくられているのか、埴輪からどんなことがわかるかなど、古墳時代の人々の生活に関心をもってもらうきっかけづくりとするほか、製作工程を体験することで、展示物を身近に感じてもらい、どうやって作ったのかなど展示物に対する関心を高める機会とするものです。ワークショップでは、本物の埴輪をよく観察し、古墳時代の人々がどのように埴輪をつくったのかを学んだあと、自然乾燥で固まる粘土を使用し、高さ約 15 ㎝のミニ埴輪を製作しました。

２｜開催日

第 1 回　令和 5 年 6 月 24 日（土曜日）・25 日（日曜日）

第 2 回　令和 5 年 9 月 23 日（祝日/土曜日）・24 日（日曜日）

３｜会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2 階情報資料室、ギャラリー

４｜対象　初めて当館主催の埴輪づくりに参加する方

５｜費用　200 円（埴輪製作キット代金）

６｜定員　1 日 2 回　各回 10 名（事前申込制／先着順）

７｜参加者　第 1 回 38 名、第 2 回 37 名

８｜参加者アンケートの結果（回答数 49）

どこからお越しですか　市内 67%　市外 33%

あなたの年代を教えてください　幼児 8%　小学生 35%　10 代 10%　20･30 代 10%　40･50 代 29%　60 代以上 8%

イベントの満足度を教えてください　大変満足 86%　満足 14%

イベントがあったらまた参加したいですか　ぜひ参加したい 84%　都合があえば参加したい 16%

ミュージアムへの来館回数　初めて 22%　2 回目 33%　3 回以上 45%

（４）体験型ミステリー「Ｈ＆Ｍ探偵社の解読記録」

１｜概要

令和 5 年 7 月～8 月に開催したミニ企画展「これでキミも考古学者！古代人が残した痕跡に迫る！」の関連事業として開催しました。当該イベントは、参加者に謎（問題）の書かれたストーリーブックを配布し、本庄市展示室を見学しながら展示資料を素材とした謎解きに挑戦してもらうもので、正解者にはイベント限定の缶バッジをプレゼントしました。

２｜開催日

令和 5 年 7 月 21 日（金曜日）～8 月 27 日（日曜日）

３｜会場

本庄早稲田の杜ミュージアム　本庄市展示室

４｜対象　どなたでも

５｜費用　無料

６｜定員　なし（当日会場受付）

７｜参加者　637 名

（5）土器・どき＼時々、はにわ／ワークショップ

1｜概要

令和 5 年 7 月～8 月に開催したミニ企画展「これでキミも考古学者！古代人が残した痕跡に迫る！」の関連事業として開催しました。

2｜開催プログラム（内容）

①＼ミュージアム限定／オリジナル缶バッジをつくろう（缶バッジづくり）
②土器を洗おう（土器洗い体験）
③土器の拓本をとろう（鉛筆による拓本体験）
④粘土で埴輪キーホルダーをつくろう（粘土を使ったキーホルダーづくり）
⑤土器＼時々、はにわ／デザイントートバッグをつくろう（土器や埴輪デザインのステンシルシートを使ったオリジナルトートバッグづくり）
⑥木のマグネットをつくろう（輪切りした枝木に埴輪のスタンプを押したマグネットづくり）

3｜開催日

令和 5 年 7 月 22 日（土曜日）～8 月 27 日（日曜日）の土曜日・日曜日・祝日及び 8 月 15 日（火曜日）・16 日（水曜日）　計 15 日間

4｜会場

本庄早稲田の杜ミュージアム
早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター1 階エントランスロビー

5｜対象　どなたでも

6｜費用　①②③④⑥無料、⑤150 円

7｜定員　なし（当日受付／先着順）

8｜参加者　合計 630 名　※複数プログラムへの参加あり

（6）和綴じ本風メモ帳をつくろう

1｜概要

令和 5 年 10 月～12 月に開催した旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース企画展「中山道本庄宿～街道に生きる人々～」の関連事業として開催しました。和綴じは日本で昔から用いられてきた製本技術で、企画展でも和綴じされた史料を展示しています。ワークショップでは、和綴じでよく用いられる「四ツ目綴じ」の技術を体験しながら和綴じ本風のメモ帳をつくりました。

2｜開催日

令和 5 年 11 月 3 日（祝日/金曜日）・4 日（土曜日）・5 日（日曜日）

3｜会場

本庄早稲田の杜ミュージアム
早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター1 階エントランスロビー

4｜対象　どなたでも

5｜費用　無料

6｜定員　なし（当日会場受付）

7｜参加者　132 名

（7）世界にひとつだけのオリジナル勾玉づくり

1｜概要

勾玉は、C の字形に湾曲した形で、丸く膨らんだ一端に孔があいており、紐をとおして使用した装身具（アクセサリー）のひとつです。日本では縄文時代の遺跡から発見された例が最も古く、弥生時代、古墳時代にも作られました。材質は滑石、蛸石、ガラス、ヒスイ、メノウなど様々なものがみられます。本市でも、長沖古墳群をはじめ、複数の遺跡から発見されています。勾玉づくりを通じて、なぜこんな形をしているのか、装身具だとなぜわかったのかなど、古代の人々の生活に関心をもってもらうきっかけづくりとするほか、製作工程を体験することで、どうやって作ったのかなど展示物に対する関心を高める機会とするものです。ワークショップでは、比較的加工しやすい「滑石」を使用し、世界に一つだけのオリジナルの勾玉を製作しました。

2｜開催日

第 1 回　令和 5 年 11 月 14 日（埼玉県民の日/火曜日）・18 日（土曜日）・19 日（日曜日）

第 2 回　令和 6 年 3 月 30 日（土曜日）・31 日（日曜日）

3｜会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2 階ギャラリー

4｜対象　どなたでも

5｜費用　石材により 200 円または 350 円（勾玉製作キット代金）

6｜定員　1 日 2 回　各回 10 名（事前申込制／先着順）

7｜参加者　第 1 回 55 名、第 2 回 43 名

8｜参加者アンケートの結果（回答数 97）

どこからお越しですか　市内 53%　市外 47%

あなたの年代を教えてください　幼児 9%　小学生 44%　10 代 4%　20･30 代 10%　40･50 代 22%　60 代以上 10%　回答なし 1%

今回のワークショップをどこで知りましたか　広報 30%　ロコミ 21%　ミュージアム HP20%　SNS17%　市 HP5%　その他 7%

ワークショップの満足度を教えてください　大変満足 87%　満足 11%　普通 2%　やや不満 0%　不満 0%

ワークショップがあったらまた参加したいですか　ぜひ参加したい 74%　都合があえば参加したい 26%　参加したくない 0%

ミュージアムへの来館回数　初めて 34%　2 回目 24%　3 回以上 42%

（8）ナイトミュージアム

1｜概要

開館時間を延長し、本来の開館時間帯には来館できない層の来館を促すほか、遮光カーテンの開放やイベントの開催により普段とは違う夜ならではの空間を創出することで、来館機会の拡大を図るものです。今回は、当館の所在する早稲田の杜地区で開催された本庄クリスマスマーケットと同日開催とし、マーケット来場者の来館を促すことで、来館機会のなかった層へのアプローチを図りました。

2｜開催プログラム（内容）

①ミュージアムカフェ（温かい飲み物を、ハニワスタンプを押したオリジナル紙コップで無料

提供）

②夜のガイドツアー（学芸員による展示解説）

③本物の土器や埴輪に触ってみよう（土器や埴輪のハンズオン体験）

④ミュージアムからのクリスマスプレゼント（早稲田大学ロゴ入りウォーキングポーチを各日先着 50 名に配布）

3｜開催日時

令和 5 年 12 月 16 日（土曜日）・17 日（日曜日）　午後 5 時～8 時

※①は 16 日のみ

4｜会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター1 階エントランスロビー

5｜対象　どなたでも

6｜費用　無料

7｜定員　①③なし（当日会場受付）　②1 日 2 回　各回 10 名（当日会場受付／先着順）　④各日 50 名（先着順）

8｜参加者　201 名

（9）弥生人のモノづくりに迫る！ミニ弥生土器をつくろう

1｜概要

令和 6 年 1 月～3 月に開催した本庄早稲田の杜地域連携展覧会「弥生時代の児玉・深谷地域」の関連事業として開催しました。弥生土器づくりを通じて、弥生時代の人々の生活に関心をもってもらうきっかけづくりとするほか、製作工程を体験することで、展示物を身近に感じてもらい、どうやって作ったのかなど展示物に対する関心を高める機会とするものです。ワークショップでは、本庄早稲田の杜地域連携展覧会を見学し、弥生土器の特徴について学んだあと、自然乾燥で固まる粘土を使用し、高さ約 15 ㎝のミニ弥生土器を製作しました。

2｜開催日

令和 6 年 2 月 3 日（土曜日）・4 日（日曜日）

3｜会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2 階情報資料室、ギャラリー

4｜対象　どなたでも

5｜費用　200 円（土器製作キット代金）

6｜定員　1 日 2 回　各回 10 名（事前申込制／先着順）

7｜参加者　合計 18 名

8｜参加者アンケートの結果（回答数 17）

どこからお越しですか　市内 65%　市外 35%

あなたの年代を教えてください　幼児 12%　小学生 47%　20･30 代 6%　40･50 代 29%　60 代以上 6%

今回のワークショップをどこで知りましたか　SNS29%　広報 23%　口コミ 18%　ミュージアム HP12%　その他 18%

ワークショップの満足度を教えてください　大変満足 100%　満足 0%　普通 0%　やや不満 0%　不満 0%

ワークショップがあったらまた参加したいですか　ぜひ参加したい 88%　都合があえば参加したい 12%　参加したくない 0%

ミュージアムへの来館回数　初めて 18%　2 回目 18%　3 回以上 59%　回答なし 5%

（１０）紋切り遊び体験

１｜概要

令和 6 年 1 月～4 月に開催した旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース企画展「幕末本庄宿のおもてなし～和宮宿泊の舞台裏～」の関連事業として開催しました。紋切りは江戸時代のこどもたちにも親しまれていた遊びの一つです。ワークショップでは、「１つ折り」又は「５つ折り」の型紙から参加者が好きなものを選び、花や鳥、本庄市マスコット「はにぽん」など色々な形を一枚の紙から切り出しました。

２｜開催日

令和 6 年 2 月 10 日（土曜日）・11 日（日曜日）・12 日（祝日/月曜日）

３｜会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター1 階エントランスロビー

４｜対象　どなたでも

５｜費用　無料

６｜定員　なし

７｜参加者　159 名

（１１）弥生時代≪超≫入門クイズラリー「弥生時代からの挑戦状」

１｜概要

令和 6 年 1 月～3 月に開催した本庄早稲田の杜地域連携展覧会「弥生時代の児玉・深谷地域」の関連事業として開催しました。当該イベントは、参加者に謎（問題）の書かれたワークシートを配布し、本庄市展示室及び地域連携展覧会会場を見学しながら弥生時代をテーマとした謎解きに挑戦してもらうもので、正解者にはイベント限定の缶バッジをプレゼントしました。

２｜開催日

令和 6 年 3 月 1 日（金曜日）～3 月 24 日（日曜日）

３｜会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2 階情報資料室

４｜対象　どなたでも

５｜費用　無料

６｜定員　なし（当日会場受付）

７｜協力　美里町教育委員会、神川町教育委員会、上里町教育委員会、深谷市教育委員会、早稲田大学文化推進部文化企画課

８｜参加者　367 名

（１２）弥生土器とチェキ撮影会

１｜概要

令和 6 年 1 月～3 月に開催した本庄早稲田の杜地域連携展覧会「弥生時代の児玉・深谷地域」の関連事業として開催しました。地域連携展覧会来場のきっかけづくりとするほか、本物の弥生土器に触れる機会を設けることで、弥生土器や弥生時代に対する関心を高めることを目的としたものです。イベントでは、本物の弥生土器に触れたあと、一緒にチェキ（インスタント写真）を撮りました。※チェキは、富士フィルム（株）の登録商標です。

２｜開催日

令和 6 年 3 月 20 日（祝日/水曜日）

３｜会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2 階情報資料室、ギャラリー

４｜対象　どなたでも

５｜費用　無料

６｜定員　１日 2 回　各回 40 名（当日会場受付／先着順）

７｜共催　神川町教育委員会

８｜参加者　30 名

（１３）縄文時代を描こうードキドキ楽しいお絵かき

１｜概要

令和 5 年 12 月～令和 6 年 5 月開催の「下野谷遺跡から見る風景－縄文時代の人々と竪穴住居の生活」の関連事業として開催しました。イベントでは、担当学芸員が企画展の解説、講師の学生が担当した絵の見どころを紹介したあと、本物の縄文土器をじっくり観察しながら、「土器の使い方」をテーマに絵を描きました。なお、イベントで描いた絵は企画展会場に展示しました。

２｜開催日

令和 6 年 3 月 23 日（土曜日）

３｜会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2 階ギャラリー

４｜対象　小学生

５｜費用　無料

６｜定員　15 名（事前申込制／先着順）

７｜参加者　4 名

８｜参加者アンケートの結果（回答数 4）

どこから来ましたか　市内 75%　市外 25%

イベントはどうでしたか　楽しかった 100%　普通 0%　つまらなかった 0%

また参加したいですか　参加したい 100%　参加したくない 0%

ミュージアムへの来館回数　初めて 0%　2 回目 25%　3 回以上 75%

2　講座・講演会

専門分野の最前線で活躍する研究者を講師に迎え、書籍等から得られる知識とは違う知的好奇心の喚起や新たな興味・関心をもつきっかけづくりを目的として講座や講演会を開催しました。また、夏休みには小学生を対象とした「こども学芸員講座」等を開催しました。

演題等	講師	参加者数
企画展「會津八一と瓦の蒐集」関連講演会 「會津八一の蒐集した瓦塼について」	谷川　遼 氏（早稲田大学會津八一記念博物館助手）	26 名
こども学芸員講座「これでキミもこども学芸員！」 　考古学探求コース 　魅力発信コース	本庄早稲田の杜ミュージアム学芸員	 13 名 6 名
企画展「エジプト文化展－早大隊の調査から辿る－」関連講演会 「ヒエログリフで遊ぼう」 「古代エジプトの食文化」 （本庄早稲田の杜ミュージアム開館 3 周年記念講演会） 「私のエジプト調査 60 年」	 馬場　匡浩 氏（早稲田大学考古資料館学芸員） 馬場　匡浩 氏（早稲田大学考古資料館学芸員） 吉村 作治 氏（早稲田大学名誉教授・東日本国際大学総長）	 15 名 46 名 116 名
本庄早稲田の杜ミュージアム開館 3 周年記念講演会 「三国時代の『論語』」	渡邉　義浩 氏（本庄早稲田の杜ミュージアム名誉館長／早稲田大学常任理事・文学学術院教授）	88 名
ミニ企画展「本庄市の古墳 2　旭・小島古墳群」関連講演会 　第 1 回「埼玉県における埴輪の受容と展開」 　第 2 回「群馬県における埴輪の受容と展開」	 大谷 徹 氏（立正大学文学部講師） 加部　二生 氏（桐生市史編集委員会原始古代部会長）	 47 名 34 名
旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース企画展「中山道本庄宿～街道に生きる人々～」関連講演会 「中山道本庄宿と田村本陣」	秋山 寛行（本庄早稲田の杜ミュージアム学芸員）	32 名
企画展／第 4 回本庄早稲田の杜地域連携展覧会「弥生時代の児玉・深谷地域」関連講演会 　第 1 回「再葬墓の時代－弥生文化黎明期の不思議な世界－」 　第 2 回「深谷の弥生時代」 　第 3 回「神川町の弥生時代」	 石川　日出志 氏（明治大学文学部教授） 幾島　審 氏（深谷市教育委員会文化振興課） 北山　直人 氏（神川町教育委員会生涯学習課）	 73 名 83 名 51 名
企画展「下野谷遺跡から見る風景－縄文時代の	細田　勝 氏（元早稲田大学考古資	29 名

人々と竪穴住居の生活」関連講演会 「下野谷遺跡と縄文ムラの姿」	料館学芸員）	
旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース企画展「幕末本庄宿のおもてなし～和宮宿泊の舞台裏～」関連講演会 「皇女和宮を迎えた本庄宿田村本陣」	秋山 寛行（本庄早稲田の杜ミュージアム学芸員）	50 名

（1）企画展「會津八一と瓦の蒐集」関連講演会「會津八一の蒐集した瓦塼について」

1｜概要

令和 5 年 3 月から 5 月開催の早稲田大学展示室企画展「會津八一と瓦の蒐集」の関連講演会として開催しました。

2｜演題・講師

「會津八一の蒐集した瓦塼について」

講師　谷川　遼 氏（早稲田大学會津八一記念博物館助手）

3｜開催日時

令和 5 年 5 月 20 日（土曜日）　午後 2 時～2 時 50 分

4｜会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター3 階レクチャールーム 1

5｜対象　どなたでも

6｜費用　無料

7｜参加者　26 名

8｜参加者アンケートの結果（回答数 20）

どこからお越しですか　市内 45%　市外 55%

あなたの年代を教えてください　20･30 代 5%　40･50 代 40%　60 代以上 55%

今回の講演会をどこで知りましたか　チラシ 40%　広報 12%　ミュージアム HP12%　市 HP8%　口コミ 8%　SNS4%　その他 16%　※複数回答あり

講演会の満足度を教えてください　大変満足 40%　満足 45%　普通 5%　やや不満 0%　不満 0%　回答なし 10%

講演会があったらまた参加したいですか　ぜひ参加したい 35%　都合があえば参加したい 60%　参加したくない 0%　回答なし 5%

ミュージアムへの来館回数　初めて 20%　2 回目 5%　3 回以上 75%

（2）こども学芸員講座「これでキミもこども学芸員！」

1｜概要

博物館では資料の収集・保管、調査研究、展示公開、教育普及など様々な事業が行われていますが、博物館で働く学芸員の仕事内容については一般に知られていません。こども学芸員講座は、夏休み期間を利用して小学生向けに学芸員の仕事を知ってもらう内容とし、博物館の存在やその仕事に興味をもってもらうきっかけづくりとするものです。今回は、考古学の調査研究を体験する「考古学探求コース」と来館者に展示資料の魅力を伝える「魅力発信コース」の 2 プログラムを開講しました。同時期に開催中のミニ企画展「これでキミも考古学者！古代人が

残した痕跡に迫る！」を活用しながら、学芸員の仕事を体験し、夏休みの自由研究や自主学習のテーマとしても活用してもらうことで、郷土の歴史や考古学に対する関心を深めてもらう機会としました。また、成果発表の場として、考古学探求コースで制作した土器や埴輪を展示する「こども学芸員作品展」、魅力発信コース参加者による「こども学芸員によるガイドツアー」を開催しました。

2｜コース・対象・講座内容

考古学探求コース　低学年クラス（対象：小学校 1～3 年生）／高学年クラス（対象：小学校 4～6 年生）

第１回　土器や埴輪に残された痕跡に迫る！土器や埴輪を観察して、作り方を調べよう
講座内容　ミニ企画展見学、土器洗い、拓本体験（低学年クラスは乾拓法、高学年クラスは湿拓法）

第 2 回　土器や埴輪をつくってみよう！調べた成果をまとめて、実際につくってみよう
講座内容　土器・埴輪づくり、展示体験

魅力発信コース　午前クラス／午後クラス（対象：小学校 3～6 年生）

第１回　推し資料をみつけよう！展示室を見学して、気に入った資料について詳しく調べてみよう
講座内容　展示室・ミニ企画展見学、調査レポートや展示解説シートの作成

第 2 回　みんなに魅力を伝えよう！来館者に推し資料を紹介するガイドツアーを開催
講座内容　ガイドツアー開催

3｜開催日時

考古学探求コース

低学年クラス　7 月 26 日（水曜日）・8 月 2 日（水曜日）全 2 回　午前 10 時～正午

高学年クラス　7 月 28 日（金曜日）・8 月 4 日（金曜日）全 2 回　午前 10 時～正午

魅力発信コース

8 月 9 日（水曜日）・8 月 11 日（祝日/金曜日）全 2 回

午前クラス　午前 10 時～正午　／　午後クラス　午後 2 時～4 時

4｜会場

本庄早稲田の杜ミュージアム

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2 階情報資料室

5｜費用　考古学探求コース　200 円（土器・埴輪製作キット代金）
魅力発信コース　無料

6｜参加者　考古学探求コース　13 名　／　魅力発信コース　6 名

7｜参加者アンケートの結果（回答数 19）

どこから来ましたか　市内 42%　市外 58%

イベントはどうでしたか　楽しかった 100%　普通 0%　つまらなかった 0%

また参加したいですか　参加したい 100%　参加したくない 0%

ミュージアムへの来館回数　初めて 5%　2 回目 37%　3 回以上 58%

（3）企画展「エジプト文化展－早大隊の調査から辿る－」関連講演会　子ども向け講演会「ヒエログリフで遊ぼう」

1｜概要

令和 5 年 7 月から 11 月開催の早稲田大学展示室企画展「エジプト文化展－早大隊の調査から辿る－」の関連講演会として、小学生 4 年生から高校生を対象に開催しました。エジプト文明の古代文字ヒエログリフ。この絵のような謎の文字について、読み方や書き方、解読の歴史などをお話いただきました。講演会の後半では自分の名前などをヒエログリフで描いたほか、ヒエログリフのスタンプを使いオリジナルの缶バッジやカード作りを楽しみました。

2｜演題・講師

「ヒエログリフで遊ぼう」

講師　馬場 匡浩 氏（早稲田大学考古資料館学芸員）

3｜開催日時　令和 5 年 8 月 5 日（土曜日）　午前 10 時 30 分～正午

4｜会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター3 階レクチャールーム 1

5｜対象　小学校 4 年生～高校生

6｜費用　無料

7｜参加者　15 名

（4）企画展「エジプト文化展－早大隊の調査から辿る－」関連講演会「古代エジプトの食文化」

1｜概要

令和 5 年 7 月から 11 月開催の早稲田大学展示室企画展「エジプト文化展－早大隊の調査から辿る－」の関連講演会として開催しました。「パンを食べ、ビールを飲む人々」と呼ばれていた古代エジプト人。講演会では、世界最古の一つであるエジプト文明の食文化に焦点をあて、パンとビールそしてワインを中心にお話いただきました。

2｜演題・講師

「古代エジプトの食文化」

講師　馬場 匡浩 氏（早稲田大学考古資料館学芸員）

3｜開催日時　令和 5 年 9 月 2 日（土曜日）　午後 2 時～3 時 30 分

4｜会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター3 階レクチャールーム 1

5｜対象　どなたでも

6｜費用　無料

7｜参加者　46 名

8｜参加者アンケートの結果（回答数 44）

どこからお越しですか　市内 50%　市外 50%

あなたの年代を教えてください　10 代 4%　20･30 代 14%　40･50 代 25%　60 代以上 57%

今回の講演会をどこで知りましたか　広報 34%　口コミ 31%　ミュージアム HP19%　ミュージアム NEWS8%　その他 8%　※複数回答あり

講演会の満足度を教えてください　大変満足 54%　満足 32%　普通 0%　やや不満 0%　不満 0%　回答なし 14%　※複数回答あり

講演会があったらまた参加したいですか　ぜひ参加したい 64%　都合があえば参加したい 32%　参加したくない 0%　回答なし 4%

ミュージアムへの来館回数　初めて 41%　2 回目 20%　3 回以上 39%

（5）企画展「エジプト文化展－早大隊の調査から辿る－」関連講演会／本庄早稲田の杜ミュージアム開館 3 周年記念講演会　特別講演会「私のエジプト調査 60 年」

1｜概要

令和 5 年 7 月から 11 月開催の早稲田大学展示室企画展「エジプト文化展－早大隊の調査から辿る－」の関連講演会として開催しました。早稲田大学のエジプト研究は、1966 年の遺跡調査、1971 年の本格的な発掘調査にはじまります。これらを実現し、今も日本のエジプト考古学を牽引する吉村作治氏を講師に迎え、これまでの調査の歴史と現在のプロジェクトについて語っていただきました。また、馬場匡浩氏（早稲田大学考古資料館学芸員）との対話形式で、発掘のエピソードなどをお話いただきました。

2｜演題・講師

「私のエジプト調査 60 年」

講師　吉村 作治 氏（早稲田大学名誉教授・東日本国際大学総長）

3｜開催日時　令和 5 年 10 月 14 日（土曜日）　午後 2 時～3 時 30 分

4｜会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター3 階レクチャールーム 1

5｜対象　どなたでも

6｜費用　無料

7｜参加者　116 名

8｜参加者アンケートの結果（回答数 79）

どこからお越しですか　市内 53%　市外 47%

あなたの年代を教えてください　10 代 5%　20･30 代 14%　40･50 代 33%　60 代以上 47%　回答なし 1%

今回の講演会をどこで知りましたか　広報 35%　口コミ 26%　ミュージアム NEWS15%　ミュージアム HP8%　SNS6%　市 HP2%　その他 7%　回答なし 1%　※複数回答あり

講演会の満足度を教えてください　大変満足 49%　満足 29%　普通 4%　やや不満 6%　不満 1%　回答なし 11%　※複数回答あり

講演会があったらまた参加したいですか　ぜひ参加したい 71%　都合があえば参加したい 27%　参加したくない 0%　回答なし 2%

ミュージアムへの来館回数　初めて 42%　2 回目 20%　3 回以上 37%　回答なし 1%

（6）本庄早稲田の杜ミュージアム開館３周年記念講演会「三国時代の『論語』」

1｜概要

開館３周年を記念し、三国志など古典中国学が専門で開館から当館名誉館長を務める渡邉義浩氏を講師に迎え、講演会を開催しました。孔子の言行録をまとめた『論語』は、いろいろな解釈が注として付けられ残っており、最も古いものが曹魏の何晏が書いた『論語集解』です。最も古い『論語』の特徴とともに渋沢栄一も愛した『論語』の魅力について語っていただきまし

た。

2｜演題・講師

「三国時代の『論語』」

講師　渡邉 義浩 氏（本庄早稲田の杜ミュージアム名誉館長／早稲田大学常任理事・文学学術院教授）

3｜開催日時

令和 5 年 10 月 21 日（土曜日）　午後 2 時～3 時 30 分

4｜会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター3 階レクチャールーム 1

5｜対象　どなたでも

6｜費用　無料

7｜参加者　88 名

8｜参加者アンケートの結果（回答数 75）

どこからお越しですか　市内 72%　市外 27%　回答なし 1%

あなたの年代を教えてください　10 代 1%　20･30 代 1%　40･50 代 16%　60 代以上 81%　回答なし 1%

今回の講演会をどこで知りましたか　広報 54%　ミュージアム NEWS14%　ミュージアム HP12%　口コミ 10%　市 HP4%　SNS1%　その他 4%　回答なし 1%　※複数回答あり

講演会の満足度を教えてください　大変満足 44%　満足 34%　普通 4%　やや不満 1%　不満 0%　回答なし 17%

講演会があったらまた参加したいですか　ぜひ参加したい 57%　都合があえば参加したい 35%　参加したくない 0%　回答なし 8%

ミュージアムへの来館回数　初めて 17%　2 回目 13%　3 回以上 70%

（7）ミニ企画展「本庄市の古墳 2　旭・小島古墳群」関連講演会

1｜概要

令和 5 年 10 月～12 月に開催したミニ企画展「本庄市の古墳 2　旭・小島古墳群」の関連講演会として開催しました。古墳時代に最も埴輪生産が盛んだった埼玉県と群馬県をフィールドとする第一線の研究者を招き、埴輪研究の最新成果について発表いただきました。

2｜演題・講師・開催日時

第 1 回「埼玉県における埴輪の受容と展開」

講師　大谷　徹 氏（立正大学文学部講師）

開催日時　令和 5 年 11 月 11 日（土曜日）　午後 1 時 30 分～4 時

第 2 回「群馬県における埴輪の受容と展開」

講師　加部　二生 氏（桐生市史編集委員会原始古代部会長）

開催日時　令和 5 年 11 月 25 日（土曜日）　午後 1 時 30 分～4 時

3｜会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター3 階レクチャールーム 1

4｜対象　どなたでも

５｜費用　無料

６｜参加者　第 1 回 47 名、第 2 回 34 名

７｜参加者アンケートの結果（回答数 61）

どこからお越しですか　市内 28%　市外 72%

今回の講演会をどこで知りましたか　ミュージアム HP30%　広報 19%　口コミ 19%　市 HP5%　SNS5%　その他 22%（新聞）　※複数回答あり

講演会の満足度を教えてください　大変満足 38%　満足 41%　普通 8%　やや不満 2%　不満 3%　回答なし 8%

講演会はわかりやすかったですか　非常にわかりやすかった 25%　わかりやすかった 44%　どちらともいえない 16%　わかりにくかった 10%　非常にわかりにくかった 2%　回答なし 3%

講演会があったらまた参加したいですか　ぜひ参加したい 49%　都合があえば参加したい 46%　参加したくない 2%　回答なし 3%

ミュージアムへの来館回数　初めて 18%　2 回目 6%　3 回以上 74%　回答なし 2%

（８）旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース企画展「中山道本庄宿～街道に生きる人々～」関連講演会「中山道本庄宿と田村本陣」

１｜概要

令和 5 年 10 月から 12 月開催の旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース企画展「中山道本庄宿～街道に生きる人々～」の関連講演会として開催しました。講演会では、本庄宿の概要と多くの大名が利用した田村本陣について、展示資料の紹介も交えながらお話しました。

２｜演題・講師

「中山道本庄宿と田村本陣」

講師　秋山　寛行（本庄早稲田の杜ミュージアム学芸員）

３｜開催日時

令和 5 年 12 月 9 日（土曜日）　午後 1 時 30 分～3 時

４｜会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター3 階レクチャールーム 1

５｜対象　どなたでも

６｜費用　無料

７｜参加者　32 名

８｜参加者アンケートの結果（回答数 30）

どこからお越しですか　市内 80%　市外 20%

今回の講演会をどこで知りましたか　広報 64%　市 HP12%　ミュージアム HP9%　口コミ 9%　SNS3%　その他 3%　※複数回答あり

講演会の満足度を教えてください　大変満足 33%　満足 47%　普通 7%　やや不満 3%　不満 0%　回答なし 10%

講演会はわかりやすかったですか　非常にわかりやすかった 26%　わかりやすかった 55%　どちらともいえない 7%　わかりにくかった 6%　非常にわかりにくかった 0%　回答なし 6%

講演会があったらまた参加したいですか　ぜひ参加したい 70%　都合があえば参加したい 23%　参加したくない 0%　回答なし 7%

ミュージアムへの来館回数　初めて 23%　2 回目 0%　3 回以上 77%

（9）企画展／第 4 回本庄早稲田の杜地域連携展覧会「弥生時代の児玉・深谷地域」関連講演会

1｜概要

令和 6 年 1 月～3 月に開催した企画展／第 4 回本庄早稲田の杜地域連携展覧会「弥生時代の児玉・深谷地域」の関連講演会として開催しました。

2｜演題・講師・開催日時

第 1 回「再葬墓の時代－弥生文化黎明期の不思議な世界－」

講師　石川　日出志 氏（明治大学文学部教授）

開催日時　令和 6 年 1 月 28 日（日曜日）　午後 2 時～3 時 30 分

第 2 回「深谷の弥生時代」

講師　幾島　審 氏（深谷市教育委員会文化振興課）

開催日時　令和 6 年 2 月 17 日（土曜日）　午後 2 時～3 時 30 分

第 3 回「神川町の弥生時代」

講師　北山　直人 氏（神川町教育委員会生涯学習課）

開催日時　令和 6 年 3 月 2 日（土曜日）　午後 2 時～3 時 30 分

3｜会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター3 階レクチャールーム 1

4｜対象　どなたでも

5｜費用　無料

6｜参加者　第 1 回 73 名、第 2 回 83 名、第 3 回 51 名

7｜参加者アンケートの結果（回答数 182）

どこからお越しですか　市内 24%　市外 76%

今回の講演会をどこで知りましたか　広報 45%　ミュージアム HP23%　口コミ 12%　市 HP3%　SNS3%　その他 14%（チラシ）　※複数回答あり

講演会の満足度を教えてください　大変満足 33%　満足 42%　普通 13%　やや不満 5%　不満 0%　回答なし 7%

講演会はわかりやすかったですか　非常にわかりやすかった 34%　わかりやすかった 50%　どちらともいえない 8%　わかりにくかった 4%　非常にわかりにくかった 0%　回答なし 4%

講演会があったらまた参加したいですか　ぜひ参加したい 57%　都合があえば参加したい 42%　参加したくない 0%　回答なし 1%

ミュージアムへの来館回数　初めて 16%　2 回目 13%　3 回以上 71%

（１０）企画展「下野谷遺跡から見る風景－縄文時代の人々と竪穴住居の生活」関連講演会「下野谷遺跡と縄文ムラの姿」

1｜概要

令和 5 年 12 月から令和 6 年 5 月開催の早稲田大学展示室企画展「下野谷遺跡から見る風景－縄

文時代の人々と竪穴住居の生活」の関連講演会として開催しました。講演会では、関東地方最大規模の縄文ムラである下野谷遺跡の住居の分析から、ムラの変遷と特色に迫りました。また、遺跡から見つかった他地域の影響を受けた土器から下野谷遺跡と他のムラとの関係や大規模集落の役割についても考えました。

２｜演題・講師

「下野谷遺跡と縄文ムラの姿」

講師　細田　勝 氏（元早稲田大学考古資料館学芸員）

３｜開催日時

令和 6 年 2 月 24 日（土曜日）　午後 2 時～3 時 30 分

４｜会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター4 階レクチャールーム 2

５｜対象　どなたでも

６｜費用　無料

７｜参加者　29 名

８｜参加者アンケートの結果（回答数 24）

どこからお越しですか　市内 21%　市外 79%

あなたの年代を教えてください　20･30 代 4%　40･50 代 33%　60 代以上 63%

今回の講演会をどこで知りましたか　ミュージアム NEWS32%　ミュージアム HP28%　広報 22%　口コミ 6%　市 HP6%　SNS3%　その他 3%　※複数回答あり

講演会の満足度を教えてください　大変満足 50%　満足 33%　普通 0%　やや不満 0%　不満 0%　回答なし 17%

講演会はわかりやすかったですか　非常にわかりやすかった 55%　わかりやすかった 33%　どちらともいえない 4%　わかりにくかった 0%　非常にわかりにくかった 0%　回答なし 8%

講演会があったらまた参加したいですか　ぜひ参加したい 63%　都合があえば参加したい 33%　参加したくない 0%　回答なし 4%

ミュージアムへの来館回数　初めて 8%　2 回目 4%　3 回以上 88%

（１１）旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース企画展「幕末本庄宿のおもてなし～和宮宿泊の舞台裏～」関連講演会「皇女和宮を迎えた本庄宿田村本陣」

１｜概要

令和 6 年 1 月から 4 月開催の旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース企画展「幕末本庄宿のおもてなし～和宮宿泊の舞台裏～」の関連講演会として開催しました。講演会では、幕末本庄宿最大の出来事であった皇女和宮の降嫁に伴う宿泊について、そこに至るまでの準備や対応の様子を展示資料の紹介も交えながらお話しました。

２｜演題・講師

「皇女和宮を迎えた本庄宿田村本陣」

講師　秋山　寛行（本庄早稲田の杜ミュージアム学芸員）

３｜開催日時

令和 6 年 3 月 16 日（土曜日）　午後 1 時 30 分～3 時

4｜会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター3 階 N304 号室

5｜対象　どなたでも

6｜費用　無料

7｜参加者　50 名

8｜参加者アンケートの結果（回答数 47）

どこからお越しですか　市内 57%　市外 43%

あなたの年代を教えてください　20･30 代 2%　40･50 代 15%　60 代以上 83%

今回の講演会をどこで知りましたか　広報 55%　SNS11%　市 HP8%　ミュージアム HP8%　口コミ 8%　その他 10%（新聞等）　※複数回答あり

講演会の満足度を教えてください　大変満足 36%　満足 49%　普通 13%　やや不満 0%　不満 2%

講演会はわかりやすかったですか　非常にわかりやすかった 30%　わかりやすかった 51%　どちらともいえない 9%　わかりにくかった 4%　非常にわかりにくかった 0%　回答なし 6%

講演会があったらまた参加したいですか　ぜひ参加したい 60%　都合があえば参加したい 38%　参加したくない 0%　回答なし 2%

ミュージアムへの来館回数　初めて 13%　2 回目 8%　3 回以上 77%　回答なし 2%

3　ガイドツアー（ギャラリートーク）

学芸員をはじめとする担当者が展示資料を解説しながら見どころを紹介するイベントで、企画展来場のきっかけづくりとするほか、展示パネルを読むだけでは得られない知識を得ることで、展示に対する理解をより深めてもらう機会とするため実施しました。

企画展名／イベント名	開催回数	参加者数
ミニ企画展「本庄市の遺跡　令和４年度最新出土品展」ガイドツアー	2 回	18 名
企画展「會津八一と瓦の蒐集」ギャラリートーク	1 回	22 名
企画展「エジプト文化展－早大隊の調査から辿る－」ガイドツアー	2 回	58 名
旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース企画展「中山道本庄宿～街道に生きる人々～」ガイドツアー	4 回	13 名
ナイトミュージアム　夜のガイドツアー	4 回	49 名
企画展／第 4 回本庄早稲田の杜地域連携展覧会「弥生時代の児玉・深谷地域」ガイドツアー	2 回	100 名
旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース企画展「幕末本庄宿のおもてなし～和宮宿泊の舞台裏～」ガイドツアー	2 回	10 名
ミニ企画展「本庄市の遺跡　令和 5 年度最新出土品展」トークイベント「今年も土器、豊作です！本庄発掘最前線」	1 回	28 名

（1）ミニ企画展「本庄市の遺跡　令和４年度最新出土品展」ガイドツアー

１｜概要

発掘調査担当者による展示解説を行いました。

２｜開催日時

令和 5 年 5 月 3 日（祝日/水曜日）　午前 10 時～／午後 2 時～

３｜会場　交流ひろば

４｜対象　どなたでも

５｜費用　無料

６｜参加者　18 名

７｜参加者アンケートの結果（回答数 11）

どこからお越しですか　市内 82%　市外 18%

あなたの年代を教えてください　40･50 代 55%　60 代以上 45%

今回のガイドツアーをどこで知りましたか　広報 61%　SNS8%　ミュージアム HP8%　口コミ 8%　その他 15%（会場で知った）※複数回答あり

ガイドツアーの満足度を教えてください　大変満足 46%　満足 36%　普通 0%　やや不満 0%　不満 0%　回答なし 18%

展示への理解は深まりましたか　非常に深まった 55%　深まった 36%　どちらともいえない 0%　深まらなかった 0%　全く深まらなかった 0%　回答なし 9%

ガイドツアーがあったらまた参加したいですか　ぜひ参加したい 64%　都合があえば参加したい 27%　参加したくない 0%　回答なし 9%

ミュージアムへの来館回数　初めて 36%　2 回目 9%　3 回以上 46%　回答なし 9%

（2）企画展「會津八一と瓦の蒐集」ギャラリートーク

１｜概要

企画展担当者である谷川 遼 氏（會津八一記念博物館助手）による展示解説を行いました。

２｜開催日時

令和 5 年 5 月 20 日（土曜日）　午後 3 時～

３｜会場　早稲田大学展示室

４｜対象　どなたでも

５｜費用　無料

６｜参加者　22 名

７｜参加者アンケートの結果（回答数 19）

どこからお越しですか　市内 53%　市外 47%

あなたの年代を教えてください　40･50 代 37%　60 代以上 53%　回答なし 10%

今回のギャラリートークをどこで知りましたか　広報 30%　ミュージアム HP30%　口コミ 5%　その他 35%※複数回答あり

ギャラリートークの満足度を教えてください　大変満足 63%　満足 32%　普通 0%　やや不満 0%　不満 0%　回答なし 5%

展示への理解は深まりましたか　非常に深まった 53%　深まった 42%　どちらともいえない

0%　深まらなかった 0%　全く深まらなかった 0%　回答なし 5%

ギャラリートークがあったらまた参加したいですか　ぜひ参加したい 32%　都合があえば参加したい 58%　参加したくない 0%　回答なし 10%

ミュージアムへの来館回数　初めて 11%　2 回目 11%　3 回以上 73%　回答なし 5%

（3）企画展「エジプト文化展－早大隊の調査から辿る－」ガイドツアー

1｜概要

企画展担当者である馬場 匡浩 氏（早稲田大学考古資料館学芸員）による展示解説を行いました。

2｜開催日時

令和 5 年 9 月 2 日（土曜日）午後 3 時 30 分～　・6 日（水曜日）　午前 10 時～

3｜会場　早稲田大学展示室

4｜対象　どなたでも

5｜費用　無料

6｜参加者　58 名

7｜参加者アンケートの結果（回答数 47）

どこからお越しですか　市内 53%　市外 47%

あなたの年代を教えてください　10 代 4%　20･30 代 13%　40･50 代 32%　60 代以上 49%　回答なし 2%

今回のガイドツアーをどこで知りましたか　広報 27%　口コミ 27%　ミュージアム HP22%　本庄市 HP10%　SNS2%　その他 10%　回答なし 2%　※複数回答あり

ガイドツアーの満足度を教えてください　大変満足 75%　満足 23%　普通 0%　やや不満 0%　不満 0%　回答なし 2%

展示への理解は深まりましたか　非常に深まった 62%　深まった 34%　どちらともいえない 2%　深まらなかった 0%　全く深まらなかった 0%　回答なし 2%

ガイドツアーがあったらまた参加したいですか　ぜひ参加したい 66%　都合があえば参加したい 28%　参加したくない 0%　回答なし 6%

ミュージアムへの来館回数　初めて 41%　2 回目 18%　3 回以上 41%

（4）旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース企画展「中山道本庄宿～街道に生きる人々～」ガイドツアー

1｜概要

企画展担当者による展示解説を行いました。

2｜開催日時

令和 5 年 11 月 23 日（祝日/木曜日）・25 日（土曜日）　午前 10 時～／午前 11 時～

3｜会場　旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース

4｜対象　どなたでも
5｜費用　無料
6｜参加者　13 名
7｜参加者アンケートの結果（回答数 13）
どこからお越しですか　市内 69%　市外 31%
あなたの年代を教えてください　40･50 代 31%　60 代以上 69%
今回のガイドツアーをどこで知りましたか　広報 55%　本庄市 HP17%　SNS6%　チラシ 6%　その他 16%　※複数回答あり
ガイドツアーの満足度を教えてください　大変満足 46%　満足 38%　普通 8%　やや不満 0%　不満 0%　回答なし 8%
展示への理解は深まりましたか　非常に深まった 38%　深まった 62%　どちらともいえない 0%　深まらなかった 0%　全く深まらなかった 0%　回答なし 0%
ガイドツアーがあったらまた参加したいですか　ぜひ参加したい 62%　都合があえば参加したい 38%　参加したくない 0%　回答なし 0%
ミュージアムへの来館　ある 85%　なし 15%

（5）ナイトミュージアム　夜のガイドツアー
1｜概要
学芸員による展示解説を行いました。
2｜開催日時
令和 5 年 12 月 16 日（土曜日）・17 日（日曜日）　午後 5 時～／午後 6 時～
3｜会場　本庄早稲田の杜ミュージアム
4｜対象　どなたでも
5｜費用　無料
6｜参加者　49 名

（6）企画展／第 4 回本庄早稲田の杜地域連携展覧会「弥生時代の児玉・深谷地域」ガイドツアー
1｜概要
企画展担当者でもある幾島 審 氏（深谷市教育委員会文化振興課）、北山 直人 氏（神川町教育委員会生涯学習課）による展示解説を行いました。
2｜開催日時
令和 6 年 2 月 17 日（土曜日）・3 月 2 日（土曜日）　午後 3 時 30 分～
3｜会場　早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター2 階情報資料室
4｜対象　どなたでも
5｜費用　無料
6｜参加者　100 名

（7）旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース企画展「幕末本庄宿のおもてなし～和宮宿泊の舞台裏～」ガイドツアー

１｜概要
企画展担当者による展示解説を行いました。
２｜開催日時
令和６年２月 22 日（木曜日）・25 日（日曜日）　午後２時～
３｜会場　旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース
４｜対象　どなたでも
５｜費用　無料
６｜参加者　10 名
７｜参加者アンケートの結果（回答数 9）
どこからお越しですか　市内 78%　市外 22%
あなたの年代を教えてください　20･30 代 12%　40･50 代 44%　60 代以上 44%
今回のガイドツアーをどこで知りましたか　広報 27%　チラシ 27%　口コミ 27%　本庄市 HP19%　※複数回答あり
ガイドツアーの満足度を教えてください　大変満足 33%　満足 67%　普通 0%　やや不満 0%　不満 0%
展示への理解は深まりましたか　非常に深まった 33%　深まった 56%　どちらともいえない 0%　深まらなかった 0%　全く深まらなかった 0%　回答なし 11%
ガイドツアーがあったらまた参加したいですか　ぜひ参加したい 33%　都合があえば参加したい 67%　参加したくない 0%
ミュージアムへの来館　ある 78%　なし 22%

（８）ミニ企画展「本庄市の遺跡　令和 5 年度最新出土品展」トークイベント「今年も土器、豊作です！本庄発掘最前線」
１｜概要
発掘調査担当者による展示解説を行いました。
２｜開催日時
令和６年３月９日（土曜日）　午後２時～
３｜会場　早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター3 階レクチャールーム 1・交流ひろば
４｜対象　どなたでも
５｜費用　無料
６｜参加者　28 名

Ⅳ 博学連携事業

１　博学連携事業

平成２９年度告示の学習指導要領では、学校教育における博物館の利用を積極的に進めることがうたわれており、当館を郷土学習の拠点として、学校団体の積極的な受け入れをはじめ、本庄市立小・中

学校を対象に見学用バスを運行するなど、来館の推進を図っています。

（1）校外学習 - そうだ！ミュージアムに行こう

展示室の見学とワークショップ・フィールドワークを組み合わせた博学連携プログラムを実施しました。展示室見学では、学芸員のガイドで展示室内を見学しました。内容は、「埴輪の世界」「本庄の歩み」「企画展示（早稲田大学展示室・交流ひろば等）」の３展示エリアの見学と自由見学を組み合わせ、学習目的に合わせて決定しています。見学にあたっては、ワイヤレス送受信機を活用し、感染症対策及び見学環境改善を継続しています。ワークショップでは、本庄の歴史や展示物をより深く知るためのプログラムとして、市内の遺跡から出土した本物の土器や埴輪に直接触れる体験（ハンズオン）や拓本体験、勾玉や埴輪づくりを実施しました。

来館状況		
市内小学校	14 校	739 名
市外小学校	5 校	234 名
市内中学校	2 校	37 名
市内高等学校	4 校	145 名

ワークショップ等実施状況		
ハンズオン	12 校	620 名
勾玉づくり	13 校	659 名
埴輪づくり	1 校	8 名
拓本体験	2 校	23 名

（2）出前授業 - 教室にミュージアムをお届け

学校では、校外学習の機会は限られており、学習の進捗に合わせての来館が難しい場合も多くあります。出前授業では、当館から実物資料を学校に持ち込むことで、教室をミニミュージアム化し、学芸員が解説を行うことで、児童・生徒が学習内容をより実感的に理解できるよう実施しました。

実施状況
中央小学校 6 年生　107 名 （ハンズオン・埴輪づくり）

2　早稲田大学本庄高等学院との連携事業

当館では、同じ早稲田大学本庄キャンパス内に立地する早稲田大学本庄高等学院との連携事業を実施しています。学芸員や教員を志望する学院生をはじめ、人に何かを伝えたり教えたりする仕事やミュージアムの事業に関心のある学院生を対象として、令和 5 年度は講座やワークショップの運営補助業務を体験するプログラムを実施しました。キャリア学習の一環として活動の場を提供するとともに、博学連携事業の充実を図っています。

参加者　20 名

Ⅴ その他の事業等

1　来館者数達成記念事業

（1）来館者 5 万人達成イベント

1｜開催日　令和 5 年 9 月 10 日（日曜日）

2｜フォトセッション　来館 5 万人目となった来場者に記念品を贈呈し、記念撮影を行いました。

３｜記念品配布　達成者及び前後の来館者に記念品を配布しました。

（２）来館者６万人達成イベント

１｜開催日　令和６年３月 10 日（日曜日）

２｜フォトセッション　来館６万人目となった来場者に記念品を贈呈し、記念撮影を行いました。

３｜記念品配布　達成者及び前後の来館者に記念品を配布しました。

２　開館３周年記念事業

（１）講演会　令和５年 10 月 14 日（土曜日）に吉村作治氏（早稲田大学名誉教授・東日本国際大学総長)、10 月 21 日（土曜日）に渡邉義浩氏（本庄早稲田の杜ミュージアム名誉館長／早稲田大学常任理事・文学学術院教授）を講師に迎え、記念講演会を開催しました。

（２）ミュージアムコンサート　令和５年 10 月 14 日（土曜日）に早稲田大学女声合唱団によるミュージアムコンサートを開催しました。

（３）記念品配布　開館記念日である令和５年 10 月 15 日（日曜日）当日の来館者に開館３周年記念限定缶バッジ及び早稲田大学オリジナルマーカーを配布しました。

（４）特別開館　令和５年 10 月 14 日（土曜日）の開館時間を午後５時 30 分まで延長しました。

３　特別開館・臨時休館

（１）特別開館

次の４日間に特別開館を行いました。

令和５年５月 20 日（土曜日）　午後５時まで開館
（ミュージアムコンサート開催に伴う開館）

令和５年 10 月 14 日（土曜日）午後５時 30 分まで開館
（ミュージアムコンサート開催に伴う開館）

令和５年 12 月 16 日（土曜日）・17 日（日曜日）　午後８時まで開館
（ナイトミュージアム開催に伴う開館）

（２）臨時休館

施設メンテナンスによる停電及び断水発生のため次の１日間を臨時休館としました。

令和５年７月 17 日（祝日/月曜日）

４　博物館実習

本庄市教育委員会事務局文化財保護課が実施する博物館実習について、令和５年８月１日（火曜日）から９日（水曜日）のうち７日間を実習期間として募集を行いましたが、希望者はいませんでした。

５　他団体主催イベントへの参加

（１）ほわフェスタ 2023～20th Anniversary～（本庄早稲田駅開業 20 周年記念イベント）

１｜開催日　令和 5 年 11 月 12 日（日曜日）
２｜イベント名（内容）
本物の土器の拓本をとろう（色鉛筆を使ったカラフルな拓本をとり、ポストカードに仕上げる）
３｜会場
本庄早稲田駅（駅内コンコース及び北口）
４｜費用　　無料
５｜参加者　201 名
６｜主催　ＪＲ東日本高崎支社　熊谷営業統括センター

（２）「埼玉縄文カード」を集めて、埼玉縄文博士になろう！（「埼玉縄文カード」配布事業）
１｜趣旨
特別展「縄文コードをひもとく - 埼玉の縄文土器とその世界 - 」の関連事業として、県内出土の縄文土器に親しんでもらうための縄文カードを作成し、歴史と民俗の博物館及び県内市町の展示施設で来館者に配布するものです。歴史と民俗の博物館では、カード掲載の縄文土器、出土遺跡の概要を紹介するパネル展を同時開催し、各市町の展示施設への観覧者の誘導を図りました。
２｜内容
歴史と民俗の博物館特別展の出品資料から 6 種類、各市町の展示施設で各 1 種類の「埼玉縄文カード」を作成し、来場者に配布しました。当館配布のカードは、新宮遺跡（児玉町共栄）出土の縄文土器を選定しました。また、歴史と民俗の博物館のカード 1 種と、各市町のカード 2 種の 3 種を集めた方には特典カードを配布しました。
３｜配布期間　令和 5 年 11 月 14 日（火曜日）～令和 6 年 1 月 14 日（日曜日）
４｜期間中の配布枚数　1,241 枚　（特典カード）98 枚

Ⅵ 資料活用

１　館外特別利用

資　料　名	点数	貸出先	利用目的
盾持人物埴輪（前の山古墳出土）	1 点	東北歴史博物館	令和 5 年度夏季特別展「古墳をつくる人びと–はにわ工人、ハジベ君！–」において展示するため
壺を運ぶ女子人物埴輪（東五十子 23 号墳）	1 点		
靫形埴輪（宥勝寺裏埴輪窯跡出土）	1 点		
かわらけ（五十子陣跡出土）	12 点	川越市立博物館	第 50 回企画展「酒と宴」において展示するため

２　特別利用

資　料　名	点数/件数	使用目的
鮮人の碑	1 点	新聞報道のため
鮮人の碑	1 点	新聞報道のため

旧本庄警察署	1 件	
秋山庚申塚古墳	1 点	調査研究のため
鮮人の碑	1 点	調査研究のため
金銅製獅噛環頭把頭（諸井興久収集考古資料）	1 点	調査研究のため
かわらけ（五十子陣跡出土）	一括	調査研究のため
東京日日新聞（関東大震災　本庄・神保原の朝鮮人虐殺の騒擾事件に関する記事） 埼玉新報（朝鮮人に関する記事） 東京日日新聞（水平社関連）	54 点 5 点 5 点	調査研究のため
児玉仲町の山車関連資料	22 点	調査研究のため
板碑（田端中原遺跡出土）	58 点	調査研究のため
鮮人の碑	1 点	調査研究のため

Ⅶ 資料収集

1　新収蔵資料

資　料　名	点数	
写真（大正 10 年本庄町町会議員集合写真）	1 点	寄贈
楽譜	66 点	寄贈
地図（昭和 16 年児玉郡全図）	1 点	寄贈
民具（真鍮製木柄付熨・ステンレス製木柄付衣料用鏝・携帯用竿秤）	3 点	寄贈
学校教育関係資料（教育勅語・ボタン穴かがり練習布）	2 点	寄贈

Ⅷ 情報発信･広報等

1　情報発信・広報

市広報や公式ホームページ、インスタグラム、本庄早稲田の杜ミュージアム NEWS を通じて、当館の展覧会やワークショップ等の開催情報をはじめ、本庄市の歴史や文化財施設に関する情報等を広く情報発信しています。

（1）公式ホームページ

1｜ページ URL　https://www.hwmm.jp/

2｜開設日　令和 2 年 10 月 15 日

（2）インスタグラム

1｜アカウント名　honjo_bunkazai

２｜ページURL　https://instagram.com/ honjo_bunkazai
３｜開設日　令和３年２月１日
４｜投稿数　投稿 110　／　ストーリーズ 152　（令和５年４月１日～令和６年３月 31 日）
５｜フォロワー数　1,121　※令和６年３月 31 日現在

（３）本庄早稲田の杜ミュージアム NEWS
当館で開催する企画展やワークショップ・イベント等の開催情報をお知らせする「本庄早稲田の杜ミュージアム NEWS」を発行し、館内等で配布するほか、HP に掲載しています。
１｜発行開始　令和５年７月
２｜発行号数　11 号　※令和６年３月 31 日現在

２　刊行物

（１）調査研究報告３
１｜発行日　令和６年３月 31 日
２｜掲載内容
［論文］児玉地域における古墳時代前期の土器様相（下）－女堀川・旧赤根川流域の古墳時代前期の土器の分析を中心として－／松本　完
［論文］蒙古襲来（モンゴル戦争）における鎌倉幕府の異国警固政策と在京人・西国地頭御家人・得宗被官庄氏の政治的・軍事的活動－その他の児玉党武士団の動向と関連づけて－／雉岡恵一
［論文］近世後期本庄宿における本陣利用者獲得と休泊由緒－『田村本陣休泊控帳』を素材として－／秋山　寛行
［資料紹介］諸井興久収集考古資料／秋山　寛行

（２）企画展パンフレット
次の企画展においてパンフレットを作成し、企画展会場にて無償配布しました。
早稲田大学展示室企画展「エジプト文化展－早大隊の調査から辿る－」
早稲田大学展示室企画展「下野谷遺跡から見る風景－縄文時代の人々と竪穴住居の生活」
企画展／第４回本庄早稲田の杜地域連携展覧会「弥生時代の児玉・深谷地域」
旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース企画展「中山道本庄宿～街道に生きる人々～」
旧本庄商業銀行煉瓦倉庫展示スペース企画展「幕末本庄宿のおもてなし～和宮宿泊の舞台裏～」

３　ミュージアムショップ

当館では、来館者サービスの一環としてミュージアムショップを併設し、常設展示図録をはじめ、当館のオリジナルグッズ等を販売しています。

販売実績	点数	販売額
当館オリジナルグッズ	1,144 点	202,150 円

ワークショップ用製作キット	1,302 点	255,950 円
文化財保護課刊行物	251 点	138,500 円
その他	430 点	251,740 円

Ⅸ 本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会

本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会は、本庄早稲田の杜ミュージアムの設置及び管理に関する条例第14条に基づき、当館の円滑な運営を図るため、教育委員会の附属機関として設置されています。委員会は、学校教育の関係者、社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者及び学識経験のある者からなる10名以内の委員によって組織され、任期は2年です。

1　運営委員会委員

（1）任期　令和4年10月15日から令和6年10月14日まで

委員名簿		※敬称略
委員長	佐々木　正峰	国立科学博物館顧問
副委員長	近藤　二郎	早稲田大学名誉教授
委　員	芦沢　吉一	心豊かな子どもの育つふるさとづくりの会会長
委　員	内田　英亮	本庄市社会教育委員
委　員	岡村　和美	本庄市立本庄南小学校校長
委　員	雉岡　恵一	本庄市文化財保護審議会副委員長
委　員	栗岡　眞理子	埼玉県立さきたま史跡の博物館館長
委　員	髙橋　義揚	本庄市ＰＴＡ連合会会長
委　員	堀越　恵理佳	本庄市教育委員会事務局学校教育課指導主事
委　員	根岸　久	本庄市文化財保護審議会委員長

※肩書は令和6年3月31日時点

2　運営委員会

（1）令和5年度第1回本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会

1｜開催日時　令和5年6月28日（水曜日）午後2時～午後3時

2｜開催場所　早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンターS401会議室

3｜出席者（委　員）近藤委員・芦沢委員・内田委員・岡村委員・雉岡委員・栗岡委員・根岸委員
（事務局）下野戸教育長・笠原事務局長・折茂課長・橋爪課長補佐・松浦主事
欠席者（委　員）佐々木委員・髙橋委員・堀越委員

4｜会議内容　委嘱状交付
議事　（報告事項）　令和４年度事業報告・令和５年度事業計画

本庄早稲田の杜ミュージアム年報
- 令和 5 年度 -

令和 6 年 5 月 30 日印刷
令和 6 年 5 月 31 日発行

編集・発行　本庄早稲田の杜ミュージアム
〒 367-0035　埼玉県本庄市西富田 1011
TEL　0495-71-6878　FAX　0495-71-6879
E-mail　hwmm@city.honjo.lg.jp

本庄早稲田の杜
HONJO-WASEDA NO MORI MUSEUM
ミュージアム